

NNAカンパサル

100号

記念特別号

永久保存版
株式会社NNA

ア ジ ア に お 集 ま る





【アジア現地ルポ】

3 リゾート復活 タイ観光の守り手たち

ジャーナリスト
室橋裕和

酒&つまみから飲み屋街まで調査

7 アジア6都市 「飲みニケーション」の今

上海 バンコク
台北 ホーチミン
ソウル マニラ



どこが高い？ 安い？

11 価格 Watch

価格ばらつくビッグマック
「世界的にも高い」韓国コカ・コーラ

上がり続けるタクシー運賃
アイフォーンは東アジアがお得
最低賃金が大幅アップした国は？

【Asiaトレンド事情】

女性のライフスタイル 山本貴代

13 亜女子オシャレ事情

おしゃれ大好きセレブママ ヒジャブ+マスクも楽しんで
地場も日本製もバランス良く 日本のドラマもお手本に♪

外食 滝口智子

15 いま話題のアジア飯

台湾 再発号 百年肉粽
マレーシア Tok Tok Mee Bamboo Noodle

17 ショッピングセンター 島田隆

18 通信・モバイル 田村和輝

19 ゲーム 佐藤翔

アイドル

「国内初」女性アイドル ミャンマーで夢を描け

人気なのは誰？各地の旬なグループをチェック！

20 ASIA アイドル最前線



【インタビュー】

24 角田 望

LegalOn Technologies 代表取締役 執行役員・CEO 弁護士

26 キム・ヨセフ

脱北ユーチューバー

28 高部 正樹

元傭兵 軍事評論家

海外駐在のマイルール

30 子連れで中国赴任 ママでも諦めない



【注目のアジア本たち】

アジアに行くならこれを読み！

31 ラノベで切り込むアジア実習生問題

『アインが見た、碧い空。あなたの知らないベトナム技能実習生の物語』



33 情緒豊かな作風、台湾漫画ヒットの舞台裏

『用九商店』

35 学べる、笑える、元気が出る アジアな漫画、大集合

アジアに行くならここで読み！

37 専門の目がそろえた貴重 70万冊 アジア経済研究所図書館

38 「マニアの店ではない」 旅の本屋 のまど

39 本物の冒険家が作ったみんなの居場所 冒険研究所書店



アジアに吞まれよう！

おしゃれをし、大いに飲み、旅行に出かけ、アイドルに熱狂する。新型コロナ禍を乗り越え、活気あふれるアジアが戻ってきた。IMFは、今年の世界経済全体の成長の約7割をアジア太平洋地域が占めるとの見通しを示している。街角を見ても、数字を分析しても、以前にもましてアジアが成長エンジンとなるのは明らかだ。

アジアの今を消費市場（パサール）の観（看、カン）点から追いかけてい。そんな思いで2010年に創刊した本紙は、このたび100号を迎えた。毎回さまざまなテーマでアジアの今を伝えてきたが、変わらないことが一つある。現地密着の姿勢だ。

本号の企画『アジア6都市「飲みニケーション」の今』は、その真骨頂だろう。道端にどっしりと腰掛け、ビールの味から香辛料の匂い、道行く人の装い、通りのクラクションまで、アジアの今を五感でつかみ取る。時に隣席の人と肘がぶつつかっても交流に変えていこう。人も企業も、もっとアジアに吞まれよう！

NNA 編集局長 長野雅史

ビーチリゾートはすっかりコロナ前の客足に。ただ欧米人が中心で、円安の影響もあり日本人観光客はまだ戻ってきていない（筆者提供）

【アジア現地ルポ】

リゾート復活 タイ観光の守り手たち

昨年10月に新型コロナウイルス感染症の対策である入国規制を撤廃したタイ。観光業は、コロナ流行の前までは国内総生産（GDP）のおよそ20%を稼ぎ出していた。少しずつ海外からの旅行者が戻ってきたというが、その後どうなっているのか。今年2月、リゾート地として知られる南部のサムイ島とプーケット島を巡ってみた。

ジャーナリスト 室橋裕和

バンコク市内に入ると、東京と変わらない光景があった。誰もがマスク姿だ。高架鉄道や地下鉄での着用率はほぼ100%だろう。欧米人はノーマスクだが、タイ人はきっちりマスクをつけていた。

「日本人は同調圧力でマスクを外せなく



旅行者で賑わうプーケットのパトンビーチ（筆者提供）

なっているように思いますが、タイ人はコロナそのものへの警戒感が強いと感じます」。バンコクに住む日本人駐在員はそう語る。

しかし、リゾートアイランドに行けば一転、ほぼノーマスクの世界になる。マスクをしているのはコンビニなどの店員くらいで、僕も外して久しぶりの開放感を楽しんだ。

サムイ島に来るのは4年ぶりのことだ。繁華街のあるチャウエンビーチにはコロナ禍のダメージか、閉業したままの物件も目立つ。手頃なゲストハウスが集まっていた通りは廃墟のようだった。

泊まったのはレストランやクラブが密集するエリアの安ホテル。お客で混み合っ



いたが「1年ほど休業し、再オープンしたのは去年から。やっと11月頃から観光客が戻ってきました。年末年始は予約で満室でしたね」とスタッフは話す。

観光客をゾウに乗せるエレファントライドの業者も、年末を機に客足が良くなったという。「収入がないのに象のエサ代がかかり本当にきつかった。やっとひと息つけた」。ようやくインバウンドが動きはじめてきたという印象だが、観光業の人たちはどうやって生き延びてきたのだろうか。

別のホテルの従業員は言う。「イサーン（タイ東北部）の実家に帰り、畑をやって

いました」こういう人が結構いるそうだ。出稼ぎ先から故郷に帰り、コロナ禍をやり過ごす。「田舎に戻れば、カオニャオとナンプラー（もち米と魚醤）くらいはある」と語るタイ人は多い。日本よりは自然の恵みが豊かで飢えることはないという。それはタイの強みだ。「自宅や店の家賃を待ってくれたり、車や家のローンを金利だけの支払いにしてくれた業者もあります」という声も聞いた。

仏教の精神も助けになった。20年には暮らしに余裕のある人が食料や生活必需品を持ち寄り、分け合う取り組みが全土で広



ブーケットは厭戦(えんせん)ムードからロシア人観光客も多い(筆者提供)

こちらはピビ島。やはり欧米人で混み合う(筆者提供)

タイの島ではよく見るこんな光景も、動物保護の観点から減っていくことだろう(筆者提供)

がった。こうした寄付は「タンブン」とい
い徳を積む行為でもある。そのタンブンの
精神もあってタイはコロナ禍を乗り切りつ
つあるようだ。

値上がり「本当に大変」

「食料品も燃料も、何でも上がって本当に
大変。給料はぜんぜん上がらないのに」

日本と全く同じことをタイでもよく聞い
た。例えば、屋台や食堂で食べることがで
きるクイッティアオ(米麺)一つをとって
も、4年前は1杯50バーツ(約190円)
くらいの店が多かったと思うが、今は70
バーツ(約270円)前後。食品の値上が
りが激しいようだ。

背景には他国と同様にエネルギー価格の
高騰があるといわれる。「コロナ前に比べ

てリッター当たり5バーツ(約20円)く
らい上がってるかも」と、ガソリンスタン
ドの店員。離島は輸送費もかかり、物価は
本土よりも高くなりがちだ。

買い物はコロナ前から電子決済が進んで
いたが、さらに普及した感を受けた。コン
ビニエンスストアやスーパーマーケットで
は、スマホで決済する姿が定着している。

シンガポール系の「クラブフード」やド
イツ系の「フードパンダ」といったデリバ
リーはよく目にする。街角の屋台や安食堂
でも、配達員が料理をピックアップしてバ
イクで走っていく。

「旅行会社を経営しているが、コロナで開
店休業の状態。フードパンダ用の食堂を始
めて、何とかやりくりしている」という人
もいた。

観光の在り方も変
化してきていると感
じた。例えば、タイ
各地の観光地で親し
まれてきたエレファ
ントライドは姿を消
しつつある。欧米人
観光客から「動物虐
待だ」と批判された
からだ。代わりに、
象と一緒に川や海で水浴びする「エレファ
ント・バス」が流行っている。水族館など
のショーも同様の理由で中止にしたところ
がある。

また、南部の島々ではマングローブの植
林に力を入れたり、紙素材のストローを出
すレストランが増えたり、オーガニック農

園を訪ねるツアーがあったりと、少しずつ
グリーンツーリズムが広がっているように
も感じた。とりわけ大自然そのものを観光
資源にするタイ南部では顕著だ。こうした
環境意識の高まりに、ビジネスチャンス
を見出すタイや外資の企業も増えてくるこ
とだろう。



島を巡るボートは観光の足だが燃料費の高騰が激しい（筆者提供）



地元客にも観光客にもナイトマーケットは人気（筆者提供）



早朝からサモサを仕込むミャンマー食堂の店員（筆者提供）

プーケットは大混雑

サムイ島から、やはり4年ぶりとなるプーケット島へ移動すると観光客で盛況だった。北部の国際空港には飛行機がばんばん離発着し、改装工事進む。島内最大の繁華街バトンビーチは夜になるとバーやレストランに観光客が押し寄せ、どこも大混雑だ。

レンタルバイクを借りようとしたら、サムイ島の倍の値段をふっかけられたり「2日間以上でないと貸さない」と言われたりもした。ホテルも満室のところが目立つ。タイ最大の水族館やウォーターパークもオープンするなど、ここも既にアフターコロナの時代になっていると感じた。「観光客用のバイクや車が全然足りないん

です。急に観光需要が戻ってきたので」と、現地在住の日本人は言う。ホテルやレストラン、コンビニに至るまで人手不足だ。この数か月で一気に回復しつつある観光需要に供給側が追い付いていない。

コロナで削減したスタッフを呼び戻したり、プーケット島内だけでなくタイ全土に求人を出したりしているが、まだまだ足りないようだ。

いくつかの安ホテルを泊まり歩いたが、どこもスタッフが常駐するのは朝から夕方まで。夜はフロントが無人となり、玄関はロックされ、部屋の鍵とは別にそちらの電子キーも渡される。何かあれば通信アプリのWhatsApp（ワッツアップ）かLINE（ライン）で連絡する仕組みだった。足りない労働力をITで補っている。

観光支えるミャンマー人

活況を取り戻すプーケットの観光業。その足元を支えているのはミャンマー人だということはあまり知られていない。ホテルやレストラン、屋台で働くのはミャンマー人が多い。観光客にはタイ人と見えるかもしれないが、よく話せばタイ語があまりわからないことがある。それでも英語を使い、笑顔で応対してくれる。

タイを「ほほえみの国」という言葉もあるが、ほほえんでいるのが実はミャンマー

人だったりするのだ。

「タイに来てもう10年になります」。ダイビングショップで働くミャンマー人は片言のタイ語で話す。南部モン州出身の少数民族、モン族だ。「スタッフのタイ人はマネージャークラスだけで、あとはミャンマー人。他の会社も似たような感じ。ミャンマーは仕事がないし、働いてもせいぜい月1,500バーツ（約5,700円）。ここでは10倍もらっています」

背景にあるのは賃金格差だ。経済的に立ち遅れたミャンマーから隣国タイに出稼ぎ

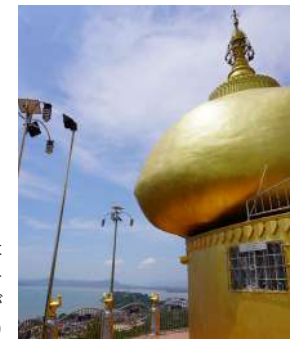


ほほえんでいるのは 実はミャンマー人だ

だろう。

プーケット東部のシーレー寺院を訪れてみた。一角に併設されたミャンマー寺院には巨大な黄金の岩が鎮座する。ミャンマーの聖地「ゴールデンロック」を模したものだ。寝釈迦仏が横たわり、プーケットの街とアンダマン海を見つめている。「週末はミャンマー人がたくさん集まってくるよ」と管理人が言う。

アフターコロナの時代に入りつつあるタイの観光地だが、その足元では大勢のミャンマー人が働いている。今後も彼らが観光業を担っていくだろう。そうであるなら、タイの賃金上昇の流れも、ミャンマー人労働者に反映されてほしいと思った。



シーレー寺院にはミニチュアのゴールデンロックがあった(筆者提供)

タイ南部最大の歓楽街、プーケットのバングラ通り。ここでもミャンマー人労働者は多い(筆者提供)

に向かう人々は昔から多く、非合法を合わせておよそ200万人とみられる。バンコクでも、タイ人がもはや働きたがらない建設や工場、飲食といった現場を支える。

より安い労働力を求めて外国人を導入する動きは日本以上に広がっている。カンボジア人やラオス人も多い。特に南部ではミャンマー人は重宝されてきた。旧英領だったことから英語教育がしっかりしていて、外国人観光客の対応ができるからだ。

プーケット南部で小さな民宿を営むタイ人は「ミャンマー人スタッフがいないと回らない。家族の一員みたいなものだからコロナ禍でもなるべく解雇したくなかった。仕事はないが部屋の掃除などをしてもらい、安くても給料は払い続けた」と言う。

そして今、ミャンマー人労働者はさらに増えている。クーデターで政権を強奪した軍の弾圧に耐えかね、故郷を離れざるを得ない人が多いからだ。とりわけ少数民族が住む地方では軍の焼き討ちなども横行し、タイに逃げてくる。それを、コロナ後のタイの観光需要の増加が吸い込んでいるようにも感じた。

コンビニに「タナカ」

「このへんの店は、全部ミャンマーだよ」そう笑うのは雑貨屋を営むおばちゃんだ。扱うのはミャンマーのお茶とかお菓子、調味料や缶詰など。ミャンマー人労働者のための店で、こんな雑貨屋がプーケット旧市街の市場のまわりに密集している。付近のコ

ンビニではミャンマーの伝統的な化粧品にして日焼け止めの粉「タナカ」まで売っていた。「市場で物を売っているのもみんなミャンマー人。朝はミャンマー人向けの食堂もやっているから行ってみるといいよ」とおばちゃん。早朝5時に出向いてみると、市場のまわりに立ち並ぶ倉庫でたくさんのミャンマー人が野菜や果物などの荷運びをしていた。彼らが腹ごしらえする食堂がいくつもあり、おいしいモヒンガー(ナマズのだしの米麺)を出してくれた。

アウンサンスーチー氏の写真が見守る中、ミャンマーのテレビを見ながら早朝を過ごす。ミャンマー式のミルクティーと合わせて40バーツ(約150円)だった。ミャンマー人労働者の賃金に合わせた価格なの

室橋 裕和(むろはし・ひろかず)

1974年生まれ。週刊誌記者を経てタイに移住。現地発の日本語情報誌の会社に在籍し、10年にわたりタイおよび周辺国取材する。帰国後はアジア専門のライター、編集者として活動。「アジアに生きる日本人」「日本に生きるアジア人」をテーマとしている。最新刊『北関東の異界 エスニック国道354号線』(新潮社)を3月に出版

タイ・バンコクにある人気の歓楽街、カオサン通り。日が暮れると通り一帯に路上バーが出現

酒&つまみから飲み屋街まで調査

アジア6都市 「飲みニケーション」の今

コロナ禍を乗り越えて、回復傾向にあるアジア各地の人出とアルコール市場。人々に愛される定番の酒とつまみを、現地在住のんべえスタッフがリサーチ。一時期は閑古鳥が鳴いていた各地の飲み屋街にも足を運び、現状を見てきた。酒を飲みながら親交を深める「飲みニケーション」は一体どんな状況だろう。

調査の概要

記事中のデータはNNA各拠点調べ・撮影
調査時期 2023年3月

上海

Shanghai

カクテル店が人気



ご当地の酒文化

項目	回答
飲酒可能年齢	18歳。ただし、あまり厳格に適用されない
購入可能年齢	同上
よく飲まれる酒	ビール、ワイン、各種カクテル、白酒（パイチュウ） ※上海以外の中国では白酒の存在感が強い
当地ならではの酒文化	飲み始めだけでなく、飲んでいるさなかもたびたび「乾杯」と言いグラスを合わせる。目上の人との飲み会などでは「乾杯」の文字通り、一気に飲み干すことが好ましい場合がある

定番の酒&つまみベスト3

酒/銘柄	メーカー、特徴など
青島啤酒（青島ビール）	中国ビールブランドの代表格。他の中国ビールブランドと同じく、炭酸が効いたあっさりとした口当たりが特徴
百威啤酒（パドワイザー）	親会社のABインベプが中国市場の深耕に成功していることから、海外ブランドのビールの中ではとりわけ強い存在感を放っている
モヒート	西洋文化の影響が強い上海中心部では、欧風のバーやレストランで酒を飲む場合が多く、こうした場所ではジントニックなどと並ぶ定番のカクテルに
つまみ	メーカー、特徴など
ピーナツ	中高齢者の間ではピーナツをつまみの代表格に上げる人が多い
羊肉串（ヤンロウチョワン）	羊肉を串に刺して炭火で焼いたもの。香辛料をまぶして食べる。羊肉の油と香辛料がマッチし、酒が進む。屋台料理の定番でもある
牛肉麵	しめの麺料理。中国全土で食べられている定番麺料理で、味は地方によってさまざまだが、しょうゆとラー油をベースにしたスープに牛肉と麺を入れる場合が多い

ここが地元の人気飲み屋街！ 静安区・長楽路

所在地	上海市中心部の静安区にある小さな通り。旧フランス租界に位置するため、欧風な街並みが広がっている
特徴	「カクテルスタンド」と呼ばれる小規模なカクテル販売店が増加。店内にはほとんど席がないため、客は軒先などで立ち飲みするのが基本。SNSなどで若者たちの注目を集めており、上海飲酒文化の西洋化を象徴する街にもなっている
店舗での現在のコロナ対策	特になし
地元の人べえの声	「SNSで注目を集めている通りなので初訪問。中国の中高齢者は白酒を好むが、上海の若者は洋酒が好き。また、レストランなどで高級料理と一緒に飲むより、もっとカジュアルに酒を楽しみたいと思っている。長楽路の店はこうした需要に応えていると思う」（女、大学生）



上：楽しげに飲んでいた女性客
下：しめの定番、牛肉麵

台北

Taipei

見知らぬ仲でも乾杯！



ご当地の酒文化

項目	回答
飲酒可能年齢	18歳。ただ、政府統計によると、高校生の7割以上、中学生の半数近くが酒を飲んだことがあるという。
購入可能年齢	同上。飲酒経験のある未成年の中には、家族から与えられるケースも
よく飲まれる酒	ビール、発泡酒、ワイン、ウイスキー、カクテル。高粱酒、薬用酒といった度数が強い酒はブルーカラーの労働者を中心に人気
当地ならではの酒文化	互いに酒を勧めて乾杯し、冗談を言うなど場を盛り上げる光景がよく見られる。飲む前に周りの人と乾杯をしたり、コップを上げるなどしてあいさつをしたりすることも

定番の酒&つまみベスト3

酒/銘柄	メーカー、特徴など
金牌台湾啤酒（金牌台湾ビール）	老舗地ビールメーカー台湾啤酒製。すっきりしていて飲みやすい
18天台湾啤酒（18天台湾生ビール）	台湾啤酒製。賞味期限はわずか18日間の生ビール。軽い飲み心地。金牌啤酒と比較すると価格はやや高い
海尼根（ハイネケン）	オランダのハイネケン。若者に人気がある
つまみ	メーカー、特徴など
ピーナツ	小魚が入っているものや、花椒粉をあえた麻辣（マラー）味、わさび風味など種類が豊富。スーパーやコンビニで購入できるほか、飲食店でもピーナツを炒めた料理がある
鹹酥鷄（シエンスージー）	鶏の唐揚げ。台湾式ポップコーンチキンと呼ばれ、ザクザクとした食感が特徴。五香粉が味のポイントで、台湾バジルの九層塔も入っている。夜市の定番スナック
臭豆腐	揚げたものと蒸したものがある。蒸したもののほうがにおいが強い。揚げたものには通常、台湾式キムチが添えてある

ここが地元の人気飲み屋街！ 中山区・吉林路

所在地	台北市中山区。観光客にも有名な廟(びょう)の行天宮が近くにある。海鮮レストランや台湾料理店が軒を連ねている
特徴	客層は外国人や常連客、ビジネスパーソン。台湾式居酒屋の熱炒（ルーチャオ）店は一般的に午後4時以降に開店し、平日・休日問わずにぎわっている。テーブルを囲み大人数で飲んでいる人が多い
店舗での現在のコロナ対策	入り口に手指消毒剤が設置されていることもあるが、使われていないことも多い。隣の客との間隔は近い
地元の人べえの声	「1カ月に2〜3回来る。メニューの種類が多く安い。大声で話しても問題ない。多くの人がこの辺りに宴会をする」（36歳男、広告業）「1週間に1回訪れる。近所に住んでいるので、この辺りのおいしい店によく行く」（49歳男、公務員）「3カ月に1回来訪。（普段は米国在住で、帰郷した際訪れる）料理がおいしいのが良い」（70歳男、退職済み）



上：店先にもテーブルがずらり
下：酒が進む臭豆腐

ソウル

Seoul

レトロ飲み屋街がヒット



ご当地の酒文化

項目	回答
飲酒可能年齢	満19歳になる年の1月1日から
購入可能年齢	19歳
よく飲まれる酒	ビール、焼酎、マッコリ
当地ならではの酒文化	目上の人との酒の席で、正面を向いて飲むのは失礼とされる。そのため横を向いて手で口元を隠して飲む

定番の酒&つまみベスト3

酒/銘柄	メーカー、特徴など
TERRA (テラ)	ハイト真露が2019年に発売したラガービール。お手頃価格
チョウムチョロム	ロッテ七星飲料の焼酎
ソウル長寿生マッコリ	業界大手、ソウル濁酒製造協会傘下のソウル長寿が製造する安価なマッコリ。こくがあり辛い料理によく合う
つまみ	メーカー、特徴など
干しタラ	ビールのおつまみの定番
フライドチキン	チキンとビール(韓国語でメクチュ)は「チメク」と呼ばれる人気の組み合わせ
マカロニ(菓子)	ボン菓子の一種。空洞がある形状からマカロニと呼ばれている



上：テラのビールを楽しむ人々 下：焼酎「チョウムチョロム」

ここが地元の人気飲み屋街！

中区・ノガリ横丁

所在地	ソウル市中区の乙支路3街。日本人に知られた繁華街・明洞から徒歩圏内
特徴	ノガリと呼ばれるスケトウダラの稚魚の干物と、ビールを提供する居酒屋が集まる。レトロな雰囲気若者に受けて人気スポットに。オフィス街から近く、会社帰りに寄っていく人も多い
店舗での現在のコロナ対策	手指消毒剤は見当たらない。マスク着用義務もなくなり、コロナ対策はほとんど見受けられない
地元のんべえの声	「月1〜2回程度、会社帰りに飲みたいときに同僚と来る。にぎやかで活気があるのがいい。周りのお客さんとも仲良くなれる」(30歳男、金融業)

バンコク

Bangkok

ナイトスポット健在



ご当地の酒文化

項目	回答
飲酒可能年齢	20歳
購入可能年齢	同上
よく飲まれる酒	ビール、ウオッカ、焼酎、ウイスキー、リキュール
当地ならではの酒文化	ビールは通常、グラスに氷を入れて飲む。仏教関連の祝日や、選挙投票の前夜と当日は禁酒日。健康志向の人はヤードンと呼ばれる薬草酒を好んで飲む

定番の酒&つまみベスト3

酒/銘柄	メーカー、特徴など
ピアシン(シンハビール)	ブンロート・ブルワリー製のビール。アルコール度数5%で飲みやすく、ビール初心者にもお薦め
レオ	同じくブンロー製のビール。ほんのり甘酸っぱくフルーティーで、あっさりした味わい
ピア・チャー(ソウ・ビール)	タイ・ピバレッジ製のラガービール。お手ごろ価格で、苦みとキレのある飲み応えで人気
つまみ	メーカー、特徴など
フライドチキン	腿の部位がポピュラー。タイハーブを添えて食べる
ピーナツ	パパイアサラダなどの料理にも使われるが、おつまみとしても不動の定番品
フライドポテト	頼まない人はまずいない鉄板おつまみ



上：おつまみ定番各種
下：人気のレオとシンハビール

ここが地元の人気飲み屋街！ 旧市街・カオサン通り

所在地	バンコクの旧市街(プラナコン地区)にある歓楽街。長さ約300メートルの路地にバーやレストランが立ち並ぶ
特徴	かつては外国人向けの安宿街で知られたが、一大ナイトスポットに発展し地元の若者の間でも人気。旅行者も数多く訪れる。店先ではレゲエなどさまざまな音楽が爆音でかかり、一帯はさながら野外ナイトクラブのような雰囲気
店舗での現在のコロナ対策	一部の店で手指消毒剤を置く程度。マスクはスタッフも着用していない
地元のんべえの声	「来るのは月に1回程度。いろいろなレストランやバーが、時々お得なプロモーションなどを提供しているのがいい」(27歳女、フリーランス)「カオサン通りの隣にあるランブトリ通りもおすすめ。混雑してなくて落ち着ける」(32歳女、販売業)「この辺りの店で流す音楽が好き。月1で遊びに来る」(22歳男、大学生)

ホーチミン

Ho Chi Minh City

毎日が飲み会日和！

ご当地の酒文化

項目	回答
飲酒可能年齢	18歳
購入可能年齢	同上。年齢確認はされず、親が子どもに買い出しを頼むのは日常風景
よく飲まれる酒	ワイン、ウイスキーなど輸入酒の関税が高いため、庶民はもっぱらビール
当地ならではの酒文化	曜日に関わらずとにかく毎日飲む。仕事帰りの一杯の話題は、政府や政治への不満が多いらしい

定番の酒&つまみベスト3

酒/銘柄	メーカー、特徴など
333 (バーバーバー)	地場最大手サイゴン・ビア・アルコール飲料(サベコ)が誇る地場ビールの代表格。店で飲んでも4万ドン(約230円)という安さと、5.5%と比較的高いアルコール度数が魅力
タイガービール	シンガポール発の東南アジアブランドは、なぜかベトナムでも人気
ルオガオ(米焼酎)	北部クアンニン省の業者が作る米焼酎。店頭価格は500ミリリットルで約2万ドンで売られているが、コンビニなどでは入手できず
つまみ	メーカー、特徴など
トンナンサテ (エビのグリル焼き)	どの店でもないことがない定番おつまみ
ラウルオックコグエット (蒸した野菜とポークディップ)	蒸した野菜を辛みの効いた豚肉ソースにつけて食べる
生春巻き	日本でも有名なベトナム料理の定番。皮が米粉からできているので、腹が膨れるビールより、ワインや焼酎などの蒸留酒とともに

ここが地元の人気飲み屋街！

4区・ピンカイン通り

所在地	ホーチミン市4区。オフィスが集まる1区とベトナムの若者が多く暮らす7区の通勤途中に当たる飲食街
特徴	約200メートルの通りの両側に、貝やエビを中心とした海鮮料理の屋台数十軒がずらりと並び
店舗での現在のコロナ対策	コロナ対策を思わせるものは一切ない
地元のんべえの声	「おいしい料理がそこそこの値段で食べられるので、1カ月に1度くらい来ている」(27歳女、会社員)「今日が初めて。通勤途中に通る際、いつも人がいっぱいになっていった。値段も料理の味もいい」(30歳女、会社員)



左：酒のお供エビのグリル焼き 右：米焼酎「ルオガオ」



マニラ

Manila

一部で依然コロナ対策

ご当地の酒文化

項目	回答
飲酒可能年齢	18歳
購入可能年齢	同上
よく飲まれる酒	ビール、ジン、ブランデー、ウイスキー、ラム
当地ならではの酒文化	つまみはプルタンと呼ばれ、肉や魚介類、豆腐などを焼いたり、揚げたりしたものがある。アルコールの苦みに合うように一般的に塩味が強め

定番の酒&つまみベスト3

酒/銘柄	メーカー、特徴など
サンミゲル・スーパードライ	フィリピンを代表するビールブランドのハイネケン。香り豊かでドライな味わい
ハイネケン	オランダのビール大手ハイネケンは当地でも大人気。マイルドな苦みが特徴
ジン	ジネブラ・サンミゲル製。粉末ジュースと混ぜ、苦みを和らげて飲むのが一般的
つまみ	メーカー、特徴など
シング	豚肉と野菜の炒め物。首都圏北方のバンパンガ州発祥の料理で、酸味がある
豚の炭火焼き	しょうゆとカラマンシー(かんきつ的一种)のソースを付けて食べる
手羽先の唐揚げ	マリネしてから揚げるのがフィリピン流

ここが地元の人気飲み屋街！

マンダルヨ市・メイフラワー通り

所在地	マニラ首都圏のマンダルヨ市。複合開発地区「グリーンフィールド・ディストリクト」の一角
特徴	落ち着いた雰囲気、ゆっくりと酒を飲みたい人に好まれる。バンドの生演奏を提供する店も。客のほとんどがグリーンフィールド地区もしくはマンダルヨ市内で働く人が在住者
店舗での現在のコロナ対策	入り口に手指消毒剤を用意。一部スタッフはマスク着用
地元のんべえの声	「毎週金曜、仕事終わりに来る。マカティやボニファシオ・グローバル・シティ(新興開発区。通称BGC)の飲み屋街に比べて静かなのが良い」(25歳女、ITエンジニア)「バーのサービスが良く食事もおいしい。来る頻度は月2回」(38歳女、人材紹介会社)



上：広く飲まれるハイネケンとサンミゲル・ライト
下：酸味が特徴の肉料理シング



どこが高い？ 安い？

価格 Watch

アジア各地で物価の上昇が止まらない。「いま、あの商品はいったいいくらなのか?」。そんな疑問に答えるべく、NNAの拠点があるアジア 11 都市で価格調査を実施。世界的チェーンの定番ハンバーガーから、法定最低賃金まで、気になる5品名を丸ごとハウマッチ!

※各品目の赤字は最高値、青字は最安値。調査期間は 2023 年 3 月
円換算は 5 月 1 日のレート (グーグルファイナンス)。小数以下は四捨五入

マクドナルド ビッグマック

1



コカ・コーラ

2



iPhone 14

3



タクシー初乗り運賃

4



5



法定最低賃金

価格ばらつくビッグマック

米マクドナルドの定番商品、ビッグマック。日本では今年 1 月に 40 円値上げして現在 450 円で販売されるが、その 1.5 倍近い価格なのがシンガポール。

英経済紙が発表した「世界主要都市の生活費ランキング」最新版で、シンガポールは米ニューヨークと並んで首位だが、ビッグマックの価格も今回断トツの 1 位。同地のマクドナルドは需給状況に応じて料金が変化するダイナミックプライシング制度を採用。今回調査した店舗は中心地にあるため少々割高だった。

またユニークなビッグマックを販売しているのがインド。人口の 8 割近くを占めるヒンズー教徒にとって牛は神聖な動物とされ、食べるのはご法度。そのため、インドのマクドナルドで牛肉製品は販売されおらず、鶏肉を使用した「チキン

マハラジャマック」がインド版ビッグマックとして流通。「ご当地マック」としてひそかに話題だ。

Delhi



／ インドのパティは鶏肉! ／

Bangkok



都市名	マクドナルド ビッグマック
上海	494 円 (25 元)
香港	401 円 (23 香港ドル)
台北	333 円 (75 台湾元)
ソウル	532 円 (5,200 ウォン)
バンコク	581 円 (145 バーツ)
ホーチミン	431 円 (7 万 4,000 ドン)
ジャカルタ	384 円 (4 万 1,000 ルピア)
シンガポール	648 円 (6.3S ドル) ※店により異なる
クアラルンプール	423 円 (13.75 リンギ)
マニラ	383 円 (155 ペソ)
デリー	344 円 (205 ルピー) ※チキンマハラジャマック

Shanghai



Seoul



／ 筒入りで型崩れなし! ／

「世界的にも高い」韓国コカ・コーラ

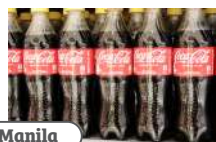
お茶から炭酸飲料まで、飲料品の種類が豊富な韓国。価格も日本と大きく変わらないものがほとんどだが、コカ・コーラは例外。

ここ数年、年に1回価格引き上げが行われており、22年12月にはコンビニで販売する一部商品を100ウォン(約10円)値上げ。「世界的にも高価格」と現地ニュースでも取り上げられた。

インドでは750ミリリットルが基本というサイズの違いも興味深い。



Delhi



Manila



Hong Kong

都市名	コカ・コーラ 500ミリリットル (ペットボトル)
上海	69円 (3.5元)
香港	157円 (9香港ドル)
台北	124円(28台湾元)※600ミリリットル
ソウル	235円 (2,300ウォン)
バンコク	76円 (19バーツ)
ホーチミン	87円 (1万5,000ドン) ※缶
ジャカルタ	55円 (5,900ルピア) ※390ミリリットル
シンガポール	165円 (1.6Sドル)
クアラルンプール	78円 (2.55リンギ)
マニラ	74円 (30ペソ)
デリー	67円 (40ルピー) ※750ミリリットル

※最高値、最安値は500ミリリットル当たりの価格に換算して比較

上がり続けるタクシー運賃

中国・上海はタクシーの新規車両を全て新エネルギー車(NEV)とする政策を掲げ、初乗り運賃も2体系。また各地で目立つのが燃料費高騰による運賃引き上げ。

韓国・ソウルは今年2月から初乗り運賃を2キロメートル3,800ウォン(約390円)から1.6キロ4,800ウォンと大幅アップ。台湾・台北も4月から初乗り運賃を15元(約70円)増額。この傾向は続きそうだ。

インドネシアのタクシー最大手、ブルーバードの車両



Jakarta



Kuala Lumpur

都市名	一般タクシー初乗り運賃
上海	277円 (14元) 316円 (16元) ※EV
香港	410円 (23.5香港ドル)
台北	311円 (70台湾元)
ソウル	491円 (4,800ウォン)
バンコク	140円 (35バーツ)
ホーチミン	64円 (1万1,000ドン) ※1キロあたり
ジャカルタ	80円 (8,500ルピア)
シンガポール	401円 (3.9Sドル)
クアラルンプール	92円 (3リンギ)
マニラ	99円 (40ペソ)
デリー	39円 (23ルピー) ※配車アプリの車両で1キロあたり

アイフォーンは東アジアがお得

一部アジアではステータスの象徴でもある米アップルのスマートフォン。最新機種「iPhone(アイフォーン)14」は単価が高い分、最高値と最安値で約3万4,000円と大きな差が出た。

意外なのは、タイやインドネシアなど東南アジアの多くの国の販売価格が、日本(128GBで11万9,800円)より約9,000~3万円も高いこと。購入は日本か東アジアが賢いかも。

生産拠点がある台湾



Taipei



Shanghai

都市名	iPhone 14 (128GB) 公式オンラインストア
上海	11万8,650円 (5,999元)
香港	12万218円 (6,899香港ドル)
台北	12万4,039円 (2万7,900台湾元)
ソウル	12万7,802円 (125万ウォン)
バンコク	13万1,913円 (3万2,900バーツ)
ホーチミン	11万9,471円 (2,049万ドン) ※携帯電話ショップ
ジャカルタ	14万491円(1,499万9,000ルピア) ※販売代理店
シンガポール	13万4,800円 (1,311.1Sドル)
クアラルンプール	12万9,068円 (4,199リンギ)
マニラ	15万3,109円 (6万1,990ペソ)
デリー	13万4,137円 (7万9,990ルピー)

最低賃金が大幅アップした国は?

インフレに伴い各地で大幅上昇し、海外進出する日系企業の大きな課題となっている最低賃金。

引き上げ率が顕著だったのがマレーシア。昨年5月、最低賃金が全国一律で1,500リンギ(約4万6,000円)に改定され、従来比で25~36%アップ。大幅な増額に各産業団体から批判が相次いだ。インドネシアやベトナムなど東南アジア各地で引き上げが続いており、注視が必要だ。



Ho Chi Minh City



Singapore

都市名	法定最低賃金
上海	月額5万1,226円 (2,590元)
香港	時給654円 (37.5香港ドル)
台北	月額11万7,370円(2万6,400台湾元)
ソウル	時給984円 (9,620ウォン)
バンコク	日給1,416円 (353バーツ)
ホーチミン	時給131円 (2万2,500ドン)
ジャカルタ	月給4万5,914円(490万1,798ルピア)
シンガポール	月給15万4,222円 (1,500Sドル) ※事務アシスタント。職種や業界により異なる
クアラルンプール	月給4万6,107円 (1,500リンギ)
マニラ	日給1,408円 (570ペソ) ※非農業部門
デリー	日給587~1,308円 (350~780ルピー) ※技能により異なる

※最高値、最安値は時給換算して比較

☆ 亜女子オシャレ事情 Return

コロナが収束し日常に戻りつつある今、顕著な動きを見せるアジア各地のトレンドを紹介。飲食、商業施設、通信など各分野の専門家が伝える最新レポートからアイドル情報まで6項目。久々に復活した人気企画「亜女子オシャレ事情」では生活アナリストの山本貴代氏が女性の流行を解説！

From Indonesia

おしゃれ大好きセレブママ
ヒジャブ+マスクも楽しんで

名前
ファビオラ (33歳)

出身地
インドネシア・ジャカルタ

職業
オンラインショップ経営

世帯構成
エンジニアの夫、子ども(1歳)との3人家族

8年前



連載初回に「お嬢様ムスリム」として登場してくれたジャカルタ在住のファビオラさん。当時25歳で、広告代理店のマーケティングプランナーとして働いていた彼女。2020年に結婚し、今では立派な1児のママ。オンラインショップを経営しながら、ベビーのお世話に日々奮闘しています。

裕福な家庭に育ち、独身時代からおしゃれに投資をしていましたが、ママになってもセンスは健在。サウジアラビアにある聖地メッカへの巡礼後に着用するようになったヒジャブ（イスラム教徒の女性が髪を覆うスカーフ）の着こなしもさすが。授乳中に動画サイトで流行をチェックしたり、電子商取引（EC）サイトで買い物をしたりして、忙しい子育ての中でもトレンド感を維持しているのだとか。



マスクはヒジャブ用を愛用

ショッピングモールで買い物中の様子。マスクは地場の医療用マスクメーカー Fivecare（ファイブケア）のもの。ヒジャブを着用すると耳が隠れるため、ゴムが長いオーバーヘッドタイプを愛用しています。インドネシアでは22年12月にマスクの着用義務は解かれたものの、商業施設ではまだ着用している人が少なくないとか。服は地場の有名ブランド、KLAMBY（クラムビー）55万ルピア。

華やか&便利な愛用アイテム

① 独身時代から靴が大好き。最近のお気に入りには、フェミニンなデザインが特徴の地場ブランド VAIA（バイア）がディズニーとコラボしたサンダル 76万5,000ルピア。『アナと雪の女王』がデザインのモチーフ。この靴を履くと、昔遊びに行った東京ディズニーランドで、花火に感動して泣いたことを思い出します。② イコスメブランド、KIKO MILANO（キコモラノ）のリップカラー 21万ルピア。マスクをしても色が一日中落ちず便利。③ マザーズバッグはトリーパーチ 350万ルピア。デザインに引かれて購入。



「優しく聡明な男性。人生観が同じだったことが決め手」とファビオラさん

ゴージャス結婚式を挙げました

インドネシア人の夫は自身と同じイスラム教徒。披露宴はコロナのため1年ほど延期して、21年に行いました。2回に分けて計500人を招待し、さらに様子をライブストリーミングで流すという盛大なうたげは「派手婚」がスタンダードのインドネシアならではの。披露宴用のドレス（左）はオーダーメイドで、故ダイアナ妃の挙式ドレスがモチーフだとか。

「かわいい」を自分のビジネスに

「インドネシアにはかわいいデザインのボトルがない。それなら自分で作ろう」と、21年に詰め替え用のボトルのビジネスをスタート。ブランド名の rapikan（ラピカン）はインドネシア語で「きちんと整理整頓」という意味で、ボトルのデザインも自らが手がける。2本セットで5万9,000ルピアなど。オンラインショップで販売。



From China

地場も日本製もバランス良く
日本のドラマもお手本に♪

名前
顧夢怡 (コ・ムイ)
(33歳)

出身地
中国・上海

職業
会社員。日系の旅行会社に勤務

世帯構成
両親との3人家族



日本酒の愛好家が集まる会に参加した際のジャケットファッション



▲スマートフォンは米アップルのiPhone(アイフォン) 13プロ。ケースは漫画『ジョジョの奇妙な冒険』をモチーフにしたもの



服購入はタオバオで

職場ではニットにパールネックレス、ロングスカートといった着こなしが中心。夢さんがよく利用するアパレルブランドは、地場のMM麦様(MEILLEUR MOMENT)。上品なおフィッシュファッションが豊富で、トップスは150元前後(約2,900円)から。「購入は主にタオバオといったECサイト。返品手続きも簡単に配送料も安いのがいいですね」



ヨガウェアが上海で流行中

最近、上海で注目を集めているのが、ヨガウェアを取り入れたスポーティーなコーディネート。地場スポーツウェアブランドMAIA ACTIVE(マイアアクティブ)などが人気。「ルーズソックスを合わせて米国の70年代スタイルを楽しむ人もいます」

愛用コスメは海外ブランド

コスメに関しては依然、海外ブランドの人气が優勢と夢さん。自身はジバンシイ、アーバンディケイ、M・A・C(マック)といった欧米系と、資生堂、セザンヌなどの日系を併用。「中国の代表的コスメブランドを挙げるなら、メーキャップアーティストが立ち上げた毛戈平(MAOGEPING)と、杭州市で誕生した花西子(フローラリス)かな」

マスクファッションにEC アフターコロナを楽しく生きる

アジア2都市からトレンド事情をお届けした今回。新型コロナウイルス流行による混乱の3年間を経て、前向きにアフターコロナ時代を生活している姿が伝わってきました。印象的だったのがマスクの定着とファッション化。インドネシアではヒジャブの着こなしに合うカラーマスクを選び、おしゃれとして楽しんでいる様子がうかがえました。

コロナ禍で変化があったものといえばECも着目したいところ。アジア各地で急成長したEC市場ですが2人の亜女子も大いに活用。中国は以前からEC大国でしたが、夢さんによるとコロナを契機に利用者がさらに増加。特に中年層が発達しているそうです。

私が運営する「亜女子ラボ」では、アジア15カ国・18地域の女性会員とSNSなどで日々交流していますが、今年に入り聞こえてくるのは「普通の生活に戻ってきた」という声。「日本に遊びに行きたい」と話す会員もちらほら。海外渡航の制限も大半が解除され、今後ますますアフターコロナの「日常」が広がる予感です。



山本貴代 (やまもと・たかよ)

静岡県出身。女の欲望ラボ代表。女性生活アナリスト。聖心女子大学卒業後、1988年博報堂入社。博報堂生活総合研究所などを経て独立。専門は女性の意識行動研究。独自の「メール文通法」で20代～70代の女性やシニア男性の本音を探り、テレビラジオなどで発表。SNSを活用し、アジア15カ国・18地域の女性から生活情報などを収集する「亜女子ラボ」も活動中
<https://www.onnanoyokuboulab.com>

味&コスパに
太鼓判!

いま話題のアジア飯

国内外の飲食系PRを担う滝口智子氏が、アジアの食トレンドを紹介。注目すべきは、ローカル店ながらとびきりおいしい「安うまグルメ」。『ミシュランガイド』にも掲載された2軒を台湾とマレーシアから選定!



台湾・台南 ザイファハオ バイニェンロウソン
再発号 百年肉粽

ローカル食堂でアワビ堪能!
1日600個売れる巨大チマキ

大きなアワビがうれしい!



5代目店主、呉冠廷さん(31歳・写真右)。最初は1個250グラムのちまきだったが、3代目が350グラム、4代目が380グラムのものを開発。現在はこれら3サイズを毎日仕込む。ちまきの形を固定させるにはかなりの力とつづが必要とか



店頭では『ミシュランガイド2022』に巨大ちまきが掲載された则表示。徒歩圏内にはミシュラン掲載店が密集しており、ほとんどが屋台という「屋台天国」だ



ネットで高評価
だったので同僚と来店

イカスープ(70台湾元)も人気。身がやわらかく、ショウウガが効いている。台南の料理は魚介類を使うことが多く、有名な「ミルクフィッシュ」のスープも提供



台北から台南の旅館に働きに来たリョクサンリンさん(右手前、24歳)。「甘めで濃い味のちまきが多い中、この店は上品で洗練された味。外国人に人気なのも納得」



円錐形にした葉に生のもち米を入れ、具材を詰めて3時間加熱。具材の仕込みを含めると完成までに丸1日かかる

台南で唯一無二の存在になっている巨大ちまきの人気店。ちまきだけで大・中・小の3種を揃えるが、大サイズ「特製海鮮八寶肉粽」160台湾元(約715円)は何と1個380グラム。もち米の中に肉そぼろ、栗、豚肉、アヒルの卵、でんぶ、ホタテ貝柱、桜エビ、干しいたけ、アワビなど11種もの具材が。とても1人では食べきれないボリュームだ。

この地で100年以上続く伝統の名物料理

で、わざわざ遠方から足を運ぶ外国人観光客も少なくない。屋台席で高級食材のアワビを味わうというギャップや、映える写真が撮影できる点も人気の要因。台湾では端午の節句をちまきでお祝いする風習が定着しており、箱入りちまきの冷凍テイクアウトが贈答用としても喜ばれることから、多い日は3サイズ合計で1日600個も売れる。ちまき以外に台南のローカルフードも充実。

Shop Data

取材店: 再発号 百年肉粽 総店
所在地: 台南市中西区民権路二段71号
営業: 10時~20時
定休日: 水曜(その他の休みはフェイスブックで要確認)
開業: 1872年
店舗数: 台南市内に2店舗

マレーシア・ペナン州 Tok Tok Mee Bamboo Noodle

トク トク ミー バンブー ヌードル



風味の秘密はアヒルの卵
竹で練る伝統バンブー麺

下にワンタンが♪

Shop Data

所在地：37 Lebeh Campbell, George Town, Penang Island
営業：9時～19時半
定休日：木曜
開業：2021年2月（それ以前は屋台）
店舗数：1店舗のみ



竹で製麺！

竹に乗る4代目。店名の「Tok Tok」は麺を練る際の「トク、トク」という音が由来



地元客の他に外国人旅行者も多数。店はペナン島中心地、世界文化遺産に登録されたジョージタウンにあり、観光ついでに回れる



バンブー麺の汁なしに、香港から輸入したエビの粉末をかけた麺9.9リンギット（左）も人気。スイーツもそろ

エッグタルトも
甘さ控えめで好き！

近くで働く銀行員の女性たち（共に来店し、1〜2週間に1回ランチ時きそばを注文



時代の視線は
もっとローカルへ

コロナ禍でアジアの飲食市場はいったんリセットされ、生き延びた店と新店とが林立し、再び競争が激化しています。そんな中、マレーシアでは同国初の『ミシュランガイド』が2022年末に発売。首都クアラルンプールに次いでペナン州の店が多数選出され、美食の街ペナンの実力を見せつけることとなりました。一方、同じ頃に台湾でも2大美食都市、台南と高雄の店が『ミシュランガイド』に新たに仲間入りという動きがありました。

これら2国・地域のローカル店には「ビッグブルマン」（価格以上の満足が得られる料理）や「small eats（スモール・イーツ）」と表現される屋台も多く含まれています。もはや首都近辺にある予約必須の高単価レストランがおいしいのは当たり前、時代の視線はもっとローカルへ、という流れを感じます。

本企画では、出張や旅行ついでに立ち寄れるリーズナブルでおいしいローカル2店をご紹介します。どちらも伝統を継承しながら地元根付き、コロナ禍も力強く生き延びた実力店。まだ知られざる輝く原石、掘り出し物の店に、行列ができる前にいち早く出かけてみては？

滝口智子（たきぐち・ともこ）



Green Create 代表取締役。国内および海外にて飲食専門のPR事業を展開。世界を旅する飲食ライターでもあり、テレビなどにも出演。書籍『海外出店のリアル』（旭屋出版）を執筆。J.S.A ソムリエ、国際きき酒師（SSI）、C.P.A チーズ検定などを保有

Asia トレンド 事情

ショッピングセンター

島田 隆

新興3カ国に要注目 日系企業にチャンス 大型SCブーム到来

ショッピングセンター（SC）ビジネスの視点から見ると、今後10年間で発展を期待できるのはベトナム、フィリピン、インドネシアの3カ国。いずれも①人口ボーナス（増加）期②経済発展による国民の所得向上③政治的な安定性——などを備えている。



イオングループがハノイに開発した「イオンモール ロンビエン」（筆者提供）

ベトナム 外資の進出が加速

ベトナムのSC開発における注目企業は2社。地場最大のコングロマリット（複合企業）であるベトナム投資グループ（ピンググループ）と、日系のイオングループだ。特にピンググループ傘下のピンコムリテールは、国内80カ所以上のSCやスーパーマーケットを展開し、まさに「独占状態」と言ってもよい。

一方、イオングループは日本でのノウハウを活用し、既にハノイやホーチミンに6施設を展開。着実に存在感を高めている。当初、2025年までにイオンモールを16カ所で開業予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり遅延気味だ。

ベトナムでは、長らく外資系小売業の多店舗化の障壁だった「エコノミック・ニーズ・テスト」（出店審査）が24年1月に撤廃予定である。実現すれば、今後のSC開発はさらに加速すると期待されている。

フィリピン 地下鉄沿線で開発期待

人口1億人を超え、人口ボーナス期が62年まで続くというフィリピンは、世界の企業が熱い視線を注ぐ。意外に知られていないが、フィリピンはアジアでは中国に次ぐメガモール（巨大施設）の宝庫である。

その代表的な企業が、大手財閥SMグループで不動産開発・運営を担うSMプライム・ホールディングス。国内と中国で約80カ所のSCを展開している。この牙城に外資のデベロッパーが、SC単独で進出するのはかなりハードルが高い状況だ。

注目すべき動向は「マニラ首都圏地下鉄」。人口約1,400万人が集中する首都圏の慢性的な交通渋滞や公害の緩和に向け、建設が進む。首都圏を南北に縦断する同国初の地下鉄で、誕生の暁には首都圏と郊外の往来は確実に増える。さらに、郊外の駅周辺では定住人口の増加に伴い、駅ビル開発や大型SCの新設も計画されている。沿線を中心にさらなる消費拡大が期待できるだろう。

インドネシア 日系各社が乗り出す

最後は人口が世界4位のインドネシア。これまで、地方都市や町村では公設市場などのトラディショナルトレード（伝統的な小売り業態）が小売業の中心だった。しかし、近年は首都やその近郊を主として大型



フィリピン財閥SMグループのSC「モール・オブ・アジア」（筆者提供）

SCの開発が盛んになっている。

注目は、日系デベロッパーの進出だ。先行するイオンモールは15年5月の「BSDシティ」を皮切りに、既に4施設を開業。24年春には5施設目となる「イオンモール デルタマス」のオープンを予定する。

他方では昨年10月、阪急阪神不動産が地場不動産のCPMアセツインドネシアを子会社化し、CPM社がジャカルタ西部に所有する大型SC「セントラルパークモール」を取得した。

同国では、以前から三菱地所や東急不動産などが富裕層向けにマンション開発を行ってきた実績がある。今後はマンション開発に加え、日本で培ったSC開発・運営への進出も期待できる。



島田 隆
（しまだ・たかし）

株式会社西武リアルティソリューションズ、マーケティング部所属（マーケティング担当）。1986年、西武商事（旧社名）入社。SC開発・運営、新規開発物件に関する基礎調査、外部企画提案などの業務を歴任。実務の傍ら、アジアのSCを視察。現地デベロッパー、小売業、飲食店の関係者と交流し、幅広いネットワークを持つ

Asia トレンド 事情

通信・モバイル

田村和輝

5G、クーデターまで 激しく変わる事業環境 アジアモバイルの世界

アジアの通信・モバイルの市場環境は目覚ましい変化を遂げている。注目すべき3つの動向として、整備が進む第5世代（5G）移動通信システム、中国からの製造移転、そして政変後のミャンマーでの変化、を紹介したい。



中国の通信事業者が地方都市に設けた5G体験施設＝中国・遼寧省丹東市（筆者提供）

韓国、中国、日本 「5G先進国」は

アジアの「5G先進国」といえば、どこが思い浮かぶだろうか。2019年4月に最初に導入した韓国、もしくは5G契約が11億件、同基地局が230万カ所を突破した中国がその筆頭ではないだろうか。特に中国は地方での整備も進み、低廉な5Gスマートフォン（スマホ）も登場するなど身近に普及。世界での5Gスマホ・基地局の展開でも中国企業が存在感を示している。

ただもう1つ、日本にも着目したい。5Gに必須の特許保有数は日米中韓の企業が各10%以上を有する中、通信事業者では日本のNTTドコモが1位だ。標準規格の策定では日本の貢献度も高く、NTTドコモやKDDI、ソフトバンクは世界初の5G高度化技術を導入した実績もある。恩恵は実感できないかもしれないが、実は技術面では日本が健闘している。

導入に伴う市場再編も活発だ。5Gは高

速通信と面展開を両立できる周波数の確保が重要で、台湾では「黄金周波数」とも呼ばれる。黄金周波数を十分に取得できなかった事業者は競争力を失い、競合他社との合併に追い込まれたほか、東南アジアでは投資の集約を目的に5G整備を1社に絞るなど、市場再編が加速している。

中国から製造移転 東南アジアで進む

米中対立の影響で、スマホの製造拠点を中国から移転する動きが加速している。有力な移転先は、ベトナム、タイ、インドネシア、インド。日本でもこれらの国で製造したスマホが増加傾向だ。

一部の国は製造業の誘致策にも力を入れる。インドネシアのバタム島では輸出製品向けの部品の輸入税や完成品の輸出税が免除される。先ほど挙げた日本で流通するインドネシア製スマホも、バタム島で製造したものだ。同島の製造業は中国の台頭で低迷したが、再び注目度を上げている。

政変で状況一変 ミャンマーの今

「アジア最後のフロンティア」と期待されたミャンマー。通信市場の開放を受けて多くの国際的な通信事業者が参入を目指し、13年にカタールのOoredoo（ウーレドゥー）、ノルウェーのテレノールの2社が激しい競争の末に免許を勝ち取った。しかし、21年2月のミャンマー国軍による

日本にも輸出するバタム島のスマホ工場＝インドネシア・リアウ諸島州バタム市（筆者提供）



クーデターで事業環境が悪化。テレノールは既に撤退し、ウーレドゥーもその予定だ。

政変後は政策に否定的な外資が撤退する一方、それを問題視しない外資が参入してきた。テレノールから現地子会社を承継した合併会社に参画する外資もそうで、例えばアフガニスタンやシリア、スーダンといった紛争当事国や制裁対象国での事業が得意とする。

通信分野でも活動する国軍系企業は経済界で存在感が高いが、欧米の制裁対象であるため、日系企業や邦人は取引に十分な注意が必要となる。

ミャンマーは事業環境が一変したが、世界の分断が加速する中、他国にも同様のリスクは潜む。こうした国での事業活動では、より一層のリスク管理が求められる。



田村和輝

（たむら・かずてる）

滋賀県出身。通信業界ウオッチャー。フリーランスで活動。携帯電話関連のウェブサイト運営し、アジアを中心とした世界の携帯電話事情を発信。東アジアと東南アジアの全ての国で携帯電話回線を契約した。近年はアジア以外にも足を伸ばす。日本人渡航者が少ない国・地域の事情も明るく、中東ではいち早く5Gを体験。国内外の発表会や展示会も参加

Asia トレンド 事情

ゲーム
佐藤 翔

次代担う東南アジア 開発力にも高い評価 地場産ゲームが脚光

コロナ禍を通じて、新興国のゲーム市場は大きく拡大した。ロックダウンが行われなくなってからも、各国のゲーム会社はコロナ禍で増えたゲームユーザーをつなぎ留めるため、さまざまな施策を行っている。



インドのゲーム展示会（筆者提供）

昨年から今年にかけて、とりわけ注目を集めていると感じるのが、インドとサウジアラビアという2つの国です。

インドの注目点は、何とんでもその圧倒的な人口規模です。世界人口などの統計を扱う米民間調査機関のワールド・ポピュレーション・レビューによると、インドの人口は22年末時点で14億1,700万人。中国を抜き、ついに世界一の人口大国となりました。

ゲーム市場としても圧倒的な成長を見せています。米国の市場調査会社ニコ・パートナーズによれば、パソコン（PC）やモバイル機のゲームユーザーは既に3億人を超え、市場成長率とユーザー拡大比率ともアジアでトップの市場となっています。

ジャンル別では『Garena Free Fire Max』のようなバトルロワイヤル系ゲーム（多人数が生き残りを懸けて戦う）と、簡単な操作やルールで誰でも楽しめるカジュアルゲームに人気が集中しています。これまでカジュアルゲーム市場では「ゲーム」と「オンラインギャンブル」があまり区別されま

せんでしたが、政府の所管が最近固まったため適切な市場秩序が形成されていくことが期待できます。

一方のサウジアラビアは、投資家として日本のゲーム企業に対するプレゼンスを高めています。一昨年、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子が設立したミスク財団が、日本のゲーム会社であるSNKの株を取得して筆頭株主となりました。さらに、サウジ政府系基金のPIFも任天堂、カプコン、コーエーテクモといった有力メーカーに多額の出資を行いました。今年3月には東映への出資比率を6.03%に引き上げるなど、日本のコンテンツ企業への投資の拡大を続けています。

サウジでは、政府のeスポーツへの高い関心を背景に「Gamers8」「Riyadh Games Expo」などゲーム関連のイベントも、これまでになく規模のものが数多く企画されるようになってきました。日本企業にとってのチャンスも、かつてないほど増えている状況です。

舞台はインドネシア 作品が世界的に評価

新興国は市場としてだけではなく、ゲーム開発でも著しい発展を見せています。私が注目するのは、インドネシアのゲームスタジオ（開発組織）MojikenとToge Productionsが今年1月に発売した『A Space for the Unbound 心に咲く花』です。1990年代のインドネシアの田舎町を舞台にしたアドベン

チャーゲーム（物語を体験するジャンル）です。ゲーム評価のまとめサイト「メタスコア」で86点を獲得。世界的に高い評価を得ています。

私が昨年末に訪れたマレーシアのゲームイベント「Level Up KL」では、本作も含めてマレーシアやインドネシアなど東南アジアを舞台としたアドベンチャーゲームが多数出展されていました。

東南アジア各地をテーマとする作品が次々と発売されるようになったのは、東南アジアのゲーム開発者が自国や自分たちのドラマ・物語などに自信を持つようになってきたことの現れと言えます。今後は優れたストーリーテリングを基軸にしたアクションやロールプレイングなど、新しいジャンルに挑戦する開発者も出てくることでしょう。



マレーシアのイベントに出展した『A Space for the Unbound 心に咲く花』のブース（筆者提供）



佐藤 翔
(さとう・しょう)

京都大学総合人間学部卒。米国サンダーバード国際経営大学院で国際経営修士号取得。ルーディムス代表取締役。新興国コンテンツ市場調査に10年近い経験を持つ。日本初のゲーム産業インキュベーションプログラム、iGi共同創設者。インド、サウジなど世界10カ国以上で講演



「国内初」女性アイドルが誕生 ミャンマーで夢を描け

クーデター以降、いまだ混迷が続くミャンマーで女性アイドルグループが誕生した。マネジメントを手がけるのは、同国で事業を展開する日本人実業家。始動のきっかけは「ミャンマーの若者に希望を与えたい」という思い。壁を乗り越え笑顔でステージに立つ彼女たちに、多くの期待が寄せられている。
(編集・古林由香)

エリカ (14)

国内トップクラスのインターナショナルスクールに在学中 ①最年少 ②慶良間諸島でシュノーケリング ③自分の母

ハルハナチュー (17)

日本アニメファンでコスプレが趣味。日本語検定2級取得 ①ボーカル ②音楽ライブと東京ディズニーランドに行く ③齋藤飛鳥、宮崎あみさ、あいず (I-COL)

シュエイ ピエシャン (19)

亡き父の願いを叶えたく歌手に。一家を支えるしっかり者 ①メインダンサー ②名所巡り ③リサ (BLACKPINK)

チョータゴーン (25)

大学では情報技術を専攻。チアリーダーとしても活躍 ①リーダー ②お花見 ③江崎ひかる (Kep1er)、宮脇咲良 (LESSERAFIM)、齋藤飛鳥、本田仁美 (AKB48)

パトリシアン (17)

中学時代は俳優の卵として演技を学ぶ。ギターと英語が得意 ①ビジュアル ②日本文化を学びたい ③齋藤飛鳥、宮脇咲良 (LESSERAFIM)、モバイル (BNK48)

質問 ①担当 ②日本でやりたいこと ③憧れの人 ※年齢は2023年5月31日現在

20代の女性たち。オリジナル楽曲『Ichigo Parfait (いちごパフェ)』のミュージックビデオ(MV)を22年10月にYouTubeでリリースし、本格的な活動を開始した。

J-DiPは「ミャンマー発のJ-POP路線」をコンセプトに掲げる。楽曲は日本人の音楽プロデューサーが提供し、衣装デザインは、アイドルの活動経験を持つヤンゴン在住の日本人女性が担当。衣装の製作は、ミャンマーに工場を構える日系のウェディングドレスメーカー「アトリエE&M」が無償で受託。多くの日本人が参加しているだけあり、驚くほどJ-POPとしての完成度が高い。

メンバー自身も、日本発のアイドル文化やJ-POPに強い関心があり、応募動機につながった。

「BNK48(タイ・バンコクを拠点に活動するAKB48の海外姉妹グループ)の生ステージを見たのがアイドルを目指したきっかけ」と話すのはハルハナチュー。日本のアニメソングも大好きという彼女は、「デビューできれば、J-POPの良さをミャンマーでアピールできる絶好の機会だと思った」と語る。

昨年12月にグループに加入した最年少のエリカも、日本人女性3人組ユニット

BABYMETAL(ベビーメタル)に引かれアイドルを志したと明かす。

ミャンマーでアイドル 諦めるしかなかった

ミャンマーのアイドルシーンが動き出したのは、11年の民政移管後だ。インターネットの普及で海外の芸能情報が急速に浸透し、韓国や日本などのアイドルグループが知名度を獲得。若い世代の憧れが強まった。一方でアイドルを育成するプロダクションは今も発展途上。現地に進出した韓国系の芸能事務所からミャンマー人男性グループAlfa(アルファ)が19年にデビューしたものの、女性アイドルグループは存在していなかった。

「ミャンマー人にその理由を尋ねると『この国にはそもそも受け皿が無い。アイドルになりたくても、ミャンマーに生まれてきた限り無理だと諦めている』と返された。しかし、そんな現状だからこそ、頑張れば成功できるという手本が必要だと痛感。



今春仕上がった活動用の衣装第2弾。「衣装デザイナーにアイデア出しからお任せしています」(加藤さん)

カラフルな衣装を身にまとい、弾けるようなダンスを繰り広げる女の子たち。「萌え」の要素が詰まったパフォーマンスは日本のアイドルのようだが、歌詞はミャンマー語。彼女たちの名前はJ-DiP(ジェイディップ)。ミャンマー人の女性5人で結成されたアイドルグループだ。

デビューのきっかけは、最大都市ヤンゴンを拠点に2021年9月から翌22年2月まで行われた「ジャパン・ドリーム・アイドルプロジェクト」。現地で日本語学校の運営などを行うZERO2ZONE(ゼロトゥーワ

ン)の代表・加藤大樹さんが発案したオーディション形式のアイドル発掘企画だ。

クーデター勃発から間もない時期だったにもかかわらず、ミャンマー各地から約980人もの女性が応募。審査で選ばれた15人がプロの講師による歌とダンスのレッスンを受け、その模様はYouTubeを通じて国内外で配信された。

4カ月にわたる厳しいトレーニングを経てデビューメンバーに選ばれたのは、パフォーマンスの才能はもちろん「アイドルになりたい」という強い意志を持つ10～



ヤンゴン日本人学校で開催された「春まつり」の様子。ステージを披露したほか、和菓子の販売ブースでお手伝い

学習者の間では知名度が上がりつつある」と説明する。

思わぬ壁に募る焦り 成功すると信じて

2月下旬。ヤンゴン日本人学校で開催されたイベントに出演し、ステージを披露したJ-D i P。主に日本人会の会員に向けたイベントだったが、観覧エリアにはミャンマー人ファンの姿もちらほ

オーディション立ち上げにつながった」と前出の加藤さん。最年長でリーダーのチョータゴーンインも「募集を知った時、母国でアイドルになれるまたとない機会だと思った」と振り返る。

現在、グループとしての稼働はYouTubeや地場最大手の通信会社、国営ミャンマー郵電公社のIPTV（インターネット・プロトコル・テレビ）での動画配信のほかに、各種イベントでのステージ披露、中国スマートフォン大手のミャンマー向けCMへの出演など。

メンバーのうち3人が中・高校生のため、歌やダンスの練習は土曜日に週1回。オーディションに審査員として参加した講師の下でレッスンを積んでいる。

加藤さんによると、グループの知名度は一般的にはまだまだ。「ミャンマーの若者は『韓国人になりたい』と言うほどK-POPアイドルに夢中なのが実情。しかし、もともと親日国なので感触はよく、日本語

ら。普段はSNSで日本の地下アイドル情報を追っているというヤンゴン在住の男性(28)は「ミャンマー発でありながらJ-POP風という点が面白い」と称賛する。

他の男性ファン数人も、日本のアイドル好きの延長線でJ-D i Pに関心を持ったと回答。コンセプトを評価しつつも「一部の層を除き、ミャンマーではなじみがない路線なので、浸透するまで時間がかかるだろう」と言葉を加えた。

実際、メンバーのシュエイーピエシャンも「多くの人が私たちのスタイルに少し違和感を覚えている様子」と告白。チョータゴーンインも「活動のために家族から経済的支援を受けているので、早く成功したい。まだ期待しているほどの反応がなく落ち込むことも」と本音をこぼす。

その一方「J-D i Pの明るくかわいいパフォーマンスは、いつか必ずミャンマー人の心に届くと信じている」と声をそろえる5人。「イベント出演の前は、一緒に寝

泊まりして何日も猛練習する」(ハルハナチュー)、「日本人アイドルのライブ動画やテレビ番組などを見て、表現力などを勉強中」(パトリシアン)と目を輝かせる。

そんな彼女たちについて、加藤さんは「とにかくやる気にあふれていて、普段の練習から熱心に取り組んでいる。自分も刺激をもらっている」とつぶやく。

メンバーと加藤さんの夢は、ミャンマーでのコンサート開催と日本での活動。そして両国の懸け橋になること。平均年齢18.4歳。挑戦は始まったばかりだ。



MV撮影の様子。制作はヤンゴンの若者たちが立ち上げた映像会社が担当。孤児院で行った撮影では院の子どもたちも出演。「頑張れば報われる世界の一助になりたい」(加藤さん)

ZERO2ONE 代表・加藤さんが語る ミャンマーの今と芸能裏表

ミャンマーのクーデター後の現状は、地方では軍の空爆などで被害が出ているが、ヤンゴン市内は軍に制圧された状況。22年は市街戦が展開されて悲惨な情勢だったが、今では少しでも市民が不審な動きをすると軍に連行されるので、抵抗する気力を失ったともいえる。

そういった意味で、正常化とは違うが市民生活を取り戻しつつあるのが実態。21～22年は「芸能活動をするなんて」という雰囲気があり、予定していたデビューイベントを中止せざるをえないなど、J-D i Pもさまざまな影響を受けた。

現在、J-D i Pはまだ投資の段階で大赤字だ。目標は、ミャンマーに進出している日系企業がこぞって広告に起用していた、ミャンマー出身のタレント・森崎ウィンさんのような存在。クーデター

の影響で日系企業の出稿が激減したのが悩みの種だ。

今後、メンバーは7～9人程度まで増やしたい。地場テレビ局とタイアップして全国オーディションを開催する計画もある。現段階ではミャンマーでの知名度を上げることが優先だが、将来は日本での活動も思い描いている。

最初は皆「ミャンマーからアイドルなんて」とやる前から諦めていた。今では「やればできる」と反応の変化を感じ励みになる。

加藤大樹(かとう・だいき) 1982年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。パナソニック、豊田通商、同社ミャンマー現地法人トヨタ・エー・アンド・サンズ(TTAS)社長を経て2021年ZERO2ONE設立



From 韓国

新興ガールズグループが花盛り

K-POP界では2020年以降に大型ガールズグループが次々とデビュー。「第4世代」と呼ばれる新しいシーンが誕生し市場が活性化している。BTSらが所属するHYBE傘下の事務所からデビューしたLE SSERAFIM(ルセラフィム)は、エレガントなパフォーマンスが特徴。HKT48を経て期間限定グループIZ*ONEのメンバーだった宮脇咲良が活躍中。全員10代でフレッシュさが魅力のNewJeans(ニュージーンズ)も同じくHYBE傘下からデビュー。好感度の高さが評価され、ジーンズ大手のリーバイ・ストラウス(リーバイス)などの広告に次々起用されている。アイドルオーディション番組は変わらず好調で、メディア大手CJ E&M制作の番組を通じて結成したKep1er(ケプラー)は、日本でも人気を集めている。

Kep1er

NNA撮影



LE SSERAFIM

(P) & (C) SOURCE MUSIC



NewJeans

リーバイ・ストラウス ジャパン提供



AKB48海外姉妹グループの今

インドネシア・ジャカルタのJKT48を皮切りにアジア各地で結成されたAKB48海外姉妹グループ。コロナ禍でベトナム・ホーチミンのSGO48他が解散し、現在は前出のJKT48、タイ・バンコクでBNK48、同国チェンマイでCGM48、フィリピン・マニラでMNL48らが活動中。中でもBNK48は日泰を結ぶ企画で人気を集め、22年には連携協定を結んだ北九州市でMVを撮影。観光促進の効果が期待されている。

北九州市の名所でMV撮影をしたBNK48

INTO1



DROP提供

From 中国

グローバルアイドルが活躍

INTO1(イントゥーワン)は、IT大手の騰訊控股(テンセント)グループが手がけたオーディション番組を通じ2021年にデビュー。中国のほか、日本、タイ、米国出身者を含む11人組で、世界各地で人気を得ていたが、活動は今年4月末までの2年限定で既に終了。解散直前に待望の初来日を果たし、東京でファンミーティングを開催した。「日本にも多くのファンがいることを知っていた。よい姿を見せるためたくさん



準備し、来日した」とリーダーの劉宇(リウ・ユ)。最年長の伯遠(ポー・ユエン)は、INTO1がもたらした中国音楽業界への影響について「(MVなどのコンテンツを通じ)中国の伝統とグローバルの融合という歴史を作り出した」と語った。中国・上海で開催された解散コンサートには2万人が参加。C-POP市場の国際化という功績を残し、惜しまれつつ解散した。

4EVE



CHET Group提供

From タイ

国内発でT-POPブーム到来

世界で活躍するBLACKPINKのメンバー、リサの故郷タイ。現地ではここ数年、パフォーマンスにK-POPの要素を取り入れつつもメンバーはタイ人というグループが増加。T-POPと呼ばれるジャンルが確立した。代表格が20年デビューの4EVE(フォーイブ)。強い女性をコンセプトにした「ガールクラッシュ路線」でブレイク中。

From フィリピン

韓流フィリピン人アイドルが続々

韓国資本がアイドル業界をけん引するフィリピン。2018年デビューのSB19(エスピーナインティーン)はフィリピン人男性の5人組だが、所属は韓国系事務所の現地支社。キレのあるステージングが特徴で米ビルボードにチャートインし、話題に。また、地場メディア大手ABS-CBNは韓国の中堅芸能事務所と組みオーディション番組を制作。今年2月、番組から誕生したHORIZON(ホライズン)が早くも人気だ。



ABS-CBN提供



インタビュー

角田 望

株式会社 LegalOn Technologies
代表取締役 執行役員・CEO 弁護士

アジアとの取引や現地で事業を行う日系企業にとって、契約書など法務の対応は負担となる仕事の1つ。その作業を人工知能（AI）を用いた技術で効率化してくれる、そんなサービスを提供する企業が LegalOn Technologies だ。若手弁護士が起業し、昨年は米国進出も果たした注目のスタートアップ。角田望代表に聞いた。

—— 弁護士から起業をしようと思いついた経緯は

弁護士だった時、AIやテクノロジーに関するニュースを見るようになりまして。これを組み合わせれば、法務に携わる人に役立つサービスを作れるんじゃないかと大きな可能性を感じました。

当時、大量の文書を読んで情報を抽出し、契約書を作成するような仕事をしていましたが、単調な仕事も多かったんですよね。弁護士や企業の法務部が行う単純作業をテクノロジーが支援してくれるソリューションがあるといいなと。

まず、そういうことに詳しく友人に話をし知り合いを紹介してもらおう形で、いろいろな人に頼りながら人を集めました。現在のサービスである「契約書に潜むリスクの洗い出しをAIが支援する」とい

うコンセプトの製品を思いつくのは、起業後で1年ぐらい経ってからですね。

—— 2017年の創業から約6年。独立してどうでしたか

必死という言葉が適切かなと。私自身、製品企画の経験はなかったので思い通りに行く方が少なかったですね。

開発してくれるエンジニアの人に「こういう機能があると法務の人の役に立つよ」と伝えるんですけど、プロダクト開発のことが分からないので認識の齟齬（そご）が起こってしまう。そういうことが結構ありました。

この方向性で大丈夫だと初めて思えたのは2020年の3月。前年4月に最初の製品となるAI契約審査プラットフォーム「LegalForce」の正式版を出した、その1年後です。1年使って契約更新となるタ

●プロフィール

京都大学法学部卒、2012年弁護士登録。森・濱田松本法律事務所を経て17年3月に独立し、法律事務所 ZeLo・外国法共同事業開設。同4月、Legal Force（現 LegalOn Technologies）を設立（NNA撮影）



“法とテクノロジーで社会を創る”

イミングで、多くのお客さまが更新してくださった。現在では地方や個人経営の方も含め、利用の規模や業種が広がっています。「契約業務が効率化された」という声もあって、うれしかったですね。

現在では、契約の締結前に書面を審査する「LegalForce」、そして契約締結後にこれを管理するシステムの「LegalForce キャビネ」という、2つのサービスを提供しています。

—— AIの進歩が著しいです

「チャットGPT」（対話型人工知能）を使ってみました、すごいですよね。世の中をどう変えていくのか気になります。これは「取り込む」一択だと思います。

こうした技術をどう使えば、より価値を提供できるのか考えなければいけない。日本でリーガルテックが出始めて6～7年、ビジネスとして成立するものは一通り出尽くしたのではないかという印象があります。

ただ、チャットGPTのようなブレイクスルーが起こると、それを使った新しいサービスも出てきます。このリーガルテック市場もさらに進化すると考えていますが、どうなっていくのか私も予測しきれません。

アジアは将来有望

昨年
は創業6年目で137億円を資金調達し、米国へ進出。「契約は世界中で同じように結ぶ」という角田代表。アジアを含むグローバルへの展開を長期的に見据える。

——昨年、米国に進出しました。米国は弁護士が多く、競争が激しいと聞きます

米国に投入したのは「LegalOn Review」というAI契約レビュー支援ソフトウェアで、日本とは異なる3つ目の製品。米国市場にフィットするよう企画しました。私が想像していた以上のスピードでプロダクトの開発が進み、お客さまにも使っていただいています。本当に期待しています。

法務のマーケットとして見ると、米国ってやっぱり世界をリードする市場なんです。日本の企業法務のプラクティス(慣習)も欧米から輸入されたもので「日本は5年、10年遅れている」といわれるぐらい。

当社のパーパス(目的)は「法とテクノロジーの力で安心して前進できる社会を創る」。これは日本に限ったものではなく、世界でしっかり貢献したい。米国へのチャレンジは不可避だと思っています。

同時に事業目線では、米国市場は大きなポテンシャルがあります。趨勢(すうせい)が決したマーケットでは全然なく、むしろ勝負はこれから。リーガルの分野はこれからが正念場という状況ですね。まだ始まったばかりで、このタイミングなら十分戦えるチャンスはあるだろうと。

——米国以外のグローバルをどう見ますか。アジアの市場は巨大です

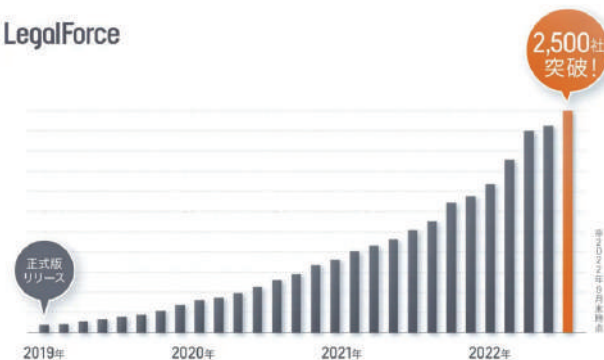
米国で立ち上げることができたら、他国での展開も十分に可能性があります。契約というのは、世界中でみんな同じように結ぶので広いポテンシャルがある。あとは市場環境だったり契約実務の状況だったり、そういったものを精査して優先順位をつけていくことかなという気がします。

アジアは非常にポテンシャルのあるマーケットで、10年後を見据えると非常に有望です。

——今ではない?

今だと欧米が先かと。契約文化というか、契約がビジネスに浸透している度合いはやはり欧米が先行していると考えられることが大きいです。もしかしたら、すぐく成熟したアジアの会社もあるかもしれない

LegalForce



「LegalForce」は2,500社、「LegalForce キャビネ」は800社以上に導入。右肩上がりでは伸ばしている(同社提供)

ですが。将来は非常に有望とは思いますが。

ジャンルを確立する

——将来像はどうありたいと考えますか

長期で言うと「法とテクノロジーの力で安心して前進できる社会を創る」ということを、私たちのプロダクトでどのように実現していくか。お客さまにきちんと価値を届け、そこに貢献できるかをしっかり追求していくことに尽きるかなと思っています。

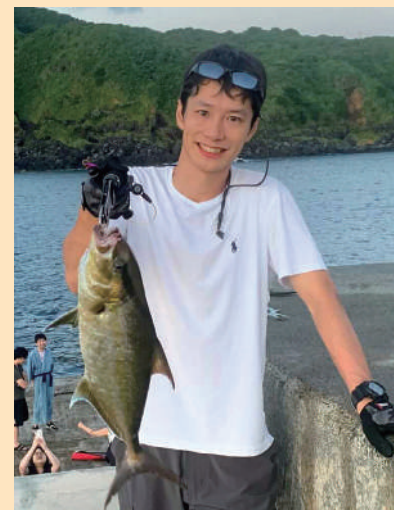
——タレントの広末涼子さんを起用したテレビCMなど、一般への露出が増えています。あれは代表が?

CMは「マーケットを創る」という意味合いが大きいです。

法務の領域でテクノロジーのソリューションを使って仕事をするというイメージは、これまで多くの人にはなかったものですよね。会計だったら、何か会計ソフトを

使うと思いますけど、法務の場合にはそういうイメージがあまりなかった。でも、法務の領域にもこういうものがあるんだよと、広く知ってもらうことによってジャンルを確立していく。それが今の当社には必要だと考えています。

(聞き手=副編集長・岡下貴寛)



徳島県出身で釣りが好きだという角田代表。前職、事務所の仕事でシンガポールに出張した際もオフは釣りにいそしんだという。

「シンガポールから船でインドネシアまで行き、現地でもボートを借りて釣りをしました。入れ食いでした。たくさん釣れるのでいいなと」

年に1度、休暇で八丈島に行き、釣りを楽しむこともあるという。「夜は釣った魚でバーベキューをします」と角田代表。(同社提供)

動画のテーマは自身の半生のほか、北朝鮮の庶民の暮らしや日本との文化比較など。流ちょうな日本語で解説（本人提供）



キム・ヨセフ

脱北YouTuber

北朝鮮出身のYouTuberが話題だ。命がけて脱北後、韓国籍を得て日本にやってきたのは10年前。会社員生活の傍ら「日本人に北朝鮮の真実を伝えたい」と制作を始めた動画が評判になり、自伝も出版した。過酷な体験を真摯（しんし）に伝える姿に「生きる力をもらった」といった声が相次いでいる。

——脱北後、来日したきっかけは

北朝鮮で過ごした幼少期から周囲に元在日の人々がいたことや、僕を引き取ってくれた祖父が日本語を話せたこともあり、もともと日本に強い関心を持っていました。先に中国に逃れた父の招きで自分も23歳で脱北し、韓国に渡ったのですが「せっかく自由を得たのだからもっと広い世界を見たい」と日本に語学留学することに。それが10年前、28歳の時です。

——ユーチューブを始めた経緯は

韓国ドラマ『愛の不時着』が日本でヒットしたのがきっかけです。ドラマの内容が全てうそとはいませんが現実には程遠い。しかも、一部の視聴者が「人民軍の将校がかっこいい」と好意的な見方をしていると知り危機感を覚えました。一方、報道が伝えるのはミサイル発射、拉致事件など政治の話題のみ。北朝鮮の実際の暮らしは

どんな様子なのか、僕が北朝鮮の真実をお話ししなければと思い始めました。

——周囲の反応はどうでしたか

実は自分が北朝鮮出身であることをほとんどの人に明かしておらず、韓国から来たと伝えていたんです。中には「驚いた」と連絡してきた友人もありました。でも、関係が変わったということはありませんし、勤め先も応援してくれています。

——顔出しでの活動に迷いは

自分は日本でひっそりと生きていくつもりでしたし、もちろん悩みました。北朝鮮支持者から何かされる可能性や、北朝鮮を良く思わない人々から否定的な意見が来ることも心配でした。ただ、自由がない北朝鮮とは違い、日本は人に迷惑をかけなければどんなことも自由にできる社会。何かを恐れてやりたいことを諦めたら、日本に来た意味がないと考え直し、顔を公開して行



●プロフィール

1985年、北朝鮮の咸鏡南道生まれ。食糧不足のため10歳で母と姉を失い、父や弟とも離別。23歳で脱北に成功し韓国籍を獲得。28歳で日本に語学留学し、大学進学を経て就職。2020年、ユーチューブチャンネル「脱北者が語る北朝鮮」開設。自伝『僕は「脱北 YouTuber」』を22年に出版。大阪府在住（本人提供）

“北朝鮮生まれはきっと僕の宿命”

うことにしました。

——実際に何か起こったことは

たまに脅しのようなコメントは来ます。ありがたいことに反響の多くが応援や好意的なものです。批判的な意見をもらうと

「そういう考えの人もいる」と思う反面、やはり落ち込みますね。ただ、僕が発信しているのはあくまでも実体験に基づいた事実であり、政権の悪口を言うことが動画の目的ではないと分かってほしいです。



壮絶な半生を語った自伝『僕は「脱北 YouTuber」』(光文社)を22年に発表

NNA撮影

脱北で得た自由に感謝

北朝鮮の首都、平壤から遠く離れた北東部の村で生まれ育ったキムさん。家庭は貧しく、栄養失調で家族が次々と亡くなり、父とも離別。祖父母の元に引き取られた後も学校には通えず、薬草採りなどの労働に明け暮れる日々を送る。父の援助による脱北も1度目は失敗。命がけて挑んだ2度目で成功し、念願の自由を手に入れた。

——半生を語る動画では、想像を絶する辛い体験を淡々と語る姿が印象的でした

視聴者から大きな反響があり、励ましのコメントも多く頂きました。亡くなった家族や、生き別れた弟、故郷に残してきた祖父母を思うとふと感情があふれ出ることもあります。動画ではあえて感情を抑えています。

——どんな時に幸福、やりがいを感じるか
コメント欄やメールなどを通じていろん

な方と交流している時。この10年間、多くの日本人に会いましたが、人数的にはやはり限りがある。ユーチューブをきっかけに、オンラインであってもたくさんの方と出会えて幸せを感じます。

僕の動画には、日本に生まれた幸福を知ってほしいというメッセージも込めているのですが、それが伝わり、誰かの力になった時にやりがいを感じます。北朝鮮ではいまだに食べ物や医療に困り、たくさんの方がつらい思いをしている。一方、日本は働けば普通に生活ができて、戦争で死ぬ心配も、政権の不満を言って捕まる不安もない。それにも関わらず生きづらさを抱える人が多い。そんな人たちに、日本の当たり



前が当たり前ではない社会もあることを僕の動画で知ってもらい、前向きに生きる力を得てほしいです。

——今改めて、北朝鮮生まれであることをどう受け止めていますか

「運が悪い」と思う時期もありました。自由がない社会で、小学校もろくに通えず、父以外の家族を亡くし、韓国社会でも苦労しました。でも、失敗する人も多い脱北に成功し、こうやって日本に来て自分の思いを発信できている。生きる意味を見つけた今、北朝鮮生まれであることを含めて使命を与えられていると感じます。

——今後、挑戦したいことは

今のように自分の経験を伝え、微力ではありますが誰かの人生の励みになるような活動を続けていきたいです。僕の座右の銘はナポレオンの「わが辞書に不可能という文字はない」。脱北して得た自由に感謝し、今後もこの精神で生きていきたいです。

(聞き手=編集・古林由香)

キム・ヨセフさん 半生 History

1985年 (0歳)	北朝鮮の咸鏡南道で誕生。姉3人、弟1人の7人家族
1995年 (10歳)	母、姉と死別。父とも離別し、弟と路上生活を始める
1996年 (11歳)	弟と生き別れ、祖父母と同居。学校に通えず働きに出る
2003年 (18歳)	父の招きで脱北に挑戦するも失敗。留置場に入る
2008年 (23歳)	2度目の脱北が成功。中国で父と再会
2009年 (24歳)	陸路で中国からカンボジアへ。現地の韓国大使館で保護される。渡韓後、職業訓練学校を経て造船会社に就職
2013年 (28歳)	日本へ。語学学校を経て埼玉県内の大学に入学し政治経済を学ぶ。卒業後は日本の会社に就職
2020年 (35歳)	ユーチューブチャンネル開設



中国出身の義兄と韓国旅行へ。会話は2人の共通言語の日本語で(本人提供)

普段は大阪府内の一般企業で社員として働くキムさん。ユーチューブの作業は主に平日夜か週末に行い、編集も自ら手がける。再婚し韓国で暮らす父や、中国出身で日本在住の義兄との関係は良好で、動画にも登場。「父は当初、僕の活動を心配していましたが、今は理解してくれています」。趣味は風景写真の撮影と旅行で、家族旅行の様子をユーチューブでも公開している。「お金と時間ができたら世界一周するのが夢。いろんな人たちに会い、知らない文化や価値観に触れてみたいです」

高部 正樹

元傭兵 軍事評論家

台湾はきな臭く、ウクライナの戦いは収まる気配がない。アフガニスタン、ミャンマー、スーダンも危うい情勢だ。海外に渡る日本人は、現地での紛争リスクにどう向き合うべきか。世界で戦った元傭兵、高部正樹氏に有事への備えについて聞いた。



——紛争が起きたらどう逃げるべきですか

空路がベストです。飛行機が使えるうちに逃げる。車や船はどこで脅威に遭うかわかりません。敵はもちろん、強盗がいるかもしれない。民間航空機は撃墜の恐れがあれば出ませんから、飛べるうちは大丈夫。

最近のアフガニスタンやウクライナは、脅威が外から中に来るパターンです。逆に、ミャンマーのクーデターは中心部から外側の地方に向かう形。外からの場合はまず陸路や海路が潰され、徐々に脱出路を失います。アフガンではタリバンが地方から首都カブールに近づき、人々が閉じ込められてしまいました。

——有事に最も気を付けるべきことは

「様子見」が一番まずいです。ウクライナで衝突が始まった当初、キーウの日本人の方がニュースに出て「様子を見ます」とテレビで言っていました。戦場で逃げ遅れるのは様子見の人です。見てる間に脱出の

機会を失います。まずは逃げましょう。

現地に住む日本人は、自分が地元の事情を分かっていると思込みがちです。でも、多少長いたところで既に平時ではなく、危機管理のプロでもありません。僕なら、ロシアがベラルーシの国境に兵力を集め始めた時点でキーウからは離れます。様子見をするならポーランドに逃げてからでもいいわけです。

もし会社に様子を見ろとか指示を待てと言われたら、僕なら「様子を見て今から避難することにします」と言います。取り残されたからと会社の同僚が助けに来てくれることはありません。とにかく、外から脅威が来る場合は危ないので素早く行動を。

特殊部隊は高級時計を持つ

——逃げる際、何を持つといいですか

まずは現金。金額次第で避難を手助けしてくれる人が現れるかもしれない。国境を



●プロフィール

高校卒業後、航空自衛隊航空学生教育隊に入隊。訓練中のけがで除隊後、傭兵になることを決意。アフガニスタン、ミャンマー、ボスニア・ヘルツェゴビナなどで従軍し、2007年に引退。現在は軍事評論家として活動（NNA撮影）

“逃げ遅れるのは様子見の人だ”

越えた後に隣国でも使えるかもしれない。

それから身に着けられるぐらいの貴重品。腕時計や指輪とか。軍隊の特殊部隊は、ロレックスなど高価な腕時計をします。例えば、山奥で現地の人と交渉する際に報酬代わりにするわけです。途中で通りかかった車に乗せてもらったり、食糧を分けてもらったりするときにも渡せます。ただし、見える場所に身に着けることはせず、隠し持って行くことですね。

スマートフォンもいまやマストです。現在地が分かり、運よく通信できる場所なら電話や情報収集も可能です。電源の確保も大事。軍隊も現代の装備品で何が重いかといえばバッテリーなんです。何本も持ち歩くのではなく、携帯できる太陽光充電式のものが500グラムほどであります。

——避難時にお勧めの服装は

周囲に溶け込むよう、現地の人に合わせた目立たない服装です。犯罪者もいるから外国人と思われたいものがない。

足元はなるべくトレッキングシューズみたいなしっかりした歩きやすい靴で。どれだけ歩くか分かりませんから。足を痛めることが結構多いです。登山で使われるサポーターやバンテージとか、足回りを保護できる物はあった方がいい。

ちなみにサバイバルの食事では、現地人と同じ物でも日本人が食べると具合が悪くなることは結構あります。例えば水。ミャンマーで、カレン軍の現地兵が谷川の水を飲むんですが、同じ水なのに日本人は赤痢



現役時の思い出の品々。カレン兵が作った竹細工のナタ入れ(左)、フランス外人部隊の友人がくれたベレー帽(上)、ボスニアで支給されたベスト(右)(NNA撮影)

になりました。彼らはずっとその環境だから抵抗力があるわけです。カナブンをろうそくであぶるだけの半生で食べるとか。それを日本人がやって大丈夫か。何となく合わないなと思ったらやめておきましょう。

検問は拘束するためにある

紛争国の市民は有事の退避先が常に念頭にあり、日本の地震や津波など災害時の避難との共通点も多い。だが高部氏は一方で「災害と紛争は違う」とも強調する。

——軍人やゲリラが来たらどうすれば

言うことを聞くしかないです。手を挙げろと言うなら挙げる。相手もこちらがどういう者か分からず緊張していますから刺激しない。抵抗してもよいことはありません。

検問をスマホで撮るなどもっての外。わざわざ拘束する理由を相手に与えるようなものです。スマホの中身も改められます。

不審な通信をしていないか、何か撮影していないか。検問だけではなく、どこも撮らないように気を付けた方がいい。スパイ扱いされる可能性がある。

僕も検問を行う側の経験がありますが、検問時は「怪しくなければ行かせてやろう」ではなく、拘束する理由を常に探しています。少しでも怪しいやつを逃すと自分が危ない目に遭うので、拘束するためにあるんです。相手はその理由をしらみつぶしに探していると思った方がいい。

——紛争地の市民はどう備えていますか

アフガンやミャンマーとかで具体的にシェルターや物資といった備えをする人は見たことがないです。紛争地の人だからと、びりびりしていることもなく普通に生活するのは日本と変わりありません。

ただ何か起きた際、すぐに動けるかどうか違います。自分や家族がどう退避するのか目安がある。例えば、カレンの村の人たちなら、村の裏付近まで戦禍が広がったら「あの山の東側に逃げる」とか「あの集落に行こう」と、そういったものがあるんです。日本に例えると「地震や津波が来たらあの広場や高台に集合だ」のように。そういった退避の計画が、頭の中にざっくりあるわけです。

日本人も同様に、地図を見て退避ルートを考えて実際に行ってみることで。行ってみると混んでいて避難には使えそうにないか、そういうことも分かります。

——日本人の災害避難も応用できそうです

気を付けたいのは、日本人は災害のイメージにとらわれがちです。避難場所まで行けばもう安全だと思ってしまう。そこにいれば助けの手が来ると。地震ならそれでもいいですが、紛争やテロはさらに逃げなければいけないことがあります。

相手は自然現象ではなく人間です。強盗、ゲリラ、テロリストと何が来るか分かりません。日本人にはそういった感覚がありません。自然災害と人間が起こす紛争を区別しましょう。

避難場所からも、いつでも逃げ出せるよう構えておく。自分が退避すべき先は近所の避難場所ではなく、その国を抜け出すことができる所なのです。

(聞き手＝副編集長・岡下貴寛)



子供の頃から釣りが大好き。「山育ちだから海より身近な溪流で。ウナギも3回に1回は捕れる」という。現役の時も、帰国のたび川に入った。夏場はよく捕れるそうで調理も自身で行う。「天然物だから、ぷりっとした歯ごたえがたまりません。最高です」と高部さん(本人提供)



子連れて中国赴任 ママでも諦めない

言葉や風習が異なる海外赴任生活は困り事が尽きないもの。アジア各地の日本人駐在員に、奮闘しながら見つけた「マイルール」を語ってもらう新企画の2回目。今回は、夫と子どもを連れて中国に赴任した女性が登場。

マイルール① 母親だからと諦めない

大手メーカーで働くユウコさん（仮名）は、2人の未就学児を育てるワーキングママ。日本の大学で中国語を専門的に学び、語学留学も経験。大学卒業後はメーカーに就職し、結婚、出産、育児休暇を経ての復職とライフイベントを重ねながら現在まで勤務している。

Profile	
名前	ユウコさん（仮名）
年齢	30代
駐在先	中国
駐在歴	1年未満
業種	製造業
職位	一般社員
世帯構成	夫、子ども2人
住居	会社が用意したマンション
外国語	中国語（ビジネスレベル）、英語（日常会話程度）
趣味	休日に子どもと遊ぶ
悩み	子育てと仕事のバランス 麺料理などが増え野菜不足

そんなある日、耳にしたのが若手社員を対象にした海外赴任制度の実施。いつか中国で働きたいと夢描いていたユウコさんには吉報だった。

「国際的な視野を持つ人材育成が目的で、赴任は期間限定。めったにない機会、これを逃せば次はないかもしれないと思いついて相談しました」

最初は驚いていたというユウコさんの夫だが、彼女の夢を知っていたため「応援する」と快諾。「子どもが小さいので実際に応募するまで悩んだのですが、夫の勤務先に、配偶者の海外赴任に同行する際に休職できる制度があることが判明。それを利用する前提で応募しました」

夫は無論、子連れ赴任を理解してくれた親族や周囲の人々、機会をくれた会社に感謝していると語る。

「海外赴任を断念する子育て中の女性は数多く、私ももうチャンスはないと思っていました。難しいのは事実ですが諦めないでほしいです」

マイルール② 現地式を受け入れる

実際に赴任してみて想定外だったことは、中国人スタッフの仕事の速さ。

「日本は各所と調整し、完璧に近づけてから世に出すスタイル。ところが中国はまず一気に作り上げて後から修正。何事も決断が速いから成長スピードも速いのだと実感しました」

業務では日本本社とのやりとりが多くあるものの、現在の直属の上司は中国人。「私はローカルのスタッフの中で働かせていただく立場。日本と違うことがあるのは当然だと肝に銘じています」

心掛けるのはコミュニケーション。日本の常識を前提とせず「中国の場合はどうですか？」と教えを請い会話することで、ユウコさんに遠慮気味だったスタッフとも仲が深まっていったという。「日本よりも工夫が必要ですが、仕事や人間関係をスムーズにするために大事だと思います」

マイルール③ 困った時はママ友情報

心配だったことの1つが現地での幼稚園選び。そこで活用したのが在上海の日本人女性たちが運営するブログと、交流サイト「微信（ウィーチャット）」のグループ



チャット。「先輩ママから幼稚園の特徴などを知ることができた」と話す。

ユウコさんのお勧めは、妊娠・育児中の女性が集うコミュニティサイト「上海SUKU☆SUKU」と、生活情報をまとめた「上海あるQ uー あるくー」。「夫も活用し、中国での子育てを頑張っています」（聞き手＝編集・古林由香）

駐在員に送るエール

望んで来たものの、悩みやストレスも多いのが現実。けれどその分、現地スタッフと仕事の達成感を分かち合えた時や、共同作業する過程に大きな喜びを感じます。中国では子守もしてくれる家事代行サービスが盛んで、子連れ駐在が不可能という訳ではありません。女性の海外赴任は簡単ではありませんが、一緒に頑張りたい！（ユウコさん）



ラノベで切り込むアジア実習生問題



アインが見た、
碧い空。
あなたの知らない
ベトナム技能実習生の物語

2022年11月1日
近藤秀将(著)
キユー(イラスト・キャラクターデザイン)
さかせがわてつや(tetbottie)
(カバーデザイン)
学而図書 1980円 電子版あり

あらすじ

ベトナム中部の大学を卒業したアインは、経済事情から技能実習生として希望を持って来日した。しかし、技能と無縁の単純労働の日々に逃亡する仲間も。アイン自身も、これでいいのか先の見えない不安に押しつぶされそうだった。本作は、アジアの技能実習生の苦悩と再起を軽妙なライトノベル小説として執筆。さらにイミグレーション法務の専門家でもある著者自らによる解説を交互に展開する。技能実習制度の問題という社会派テーマを唯一無二のスタイルで描き出した。

ここがすごい!

- ① 社会問題をライトノベルで手軽に読める
- ① アジアと実務に詳しい専門家が執筆
- ① 物語と解説が交互で理解しやすい

昨年11月、一風変わった書籍が登場した。アニメ調の女性が描かれた表紙に「ベトナム」「技能実習生」「あなたの知らない」と躍る文言。日本とアジアが関わる社会制度とその問題をテーマに、法務の専門家が書いた物語だ。著者の行政書士、近藤秀将氏に執筆の背景を聞いた。

若い人に向けて 独自形式を模索

——技能実習制度がテーマの小説は珍しいです

行政書士として、アジア系の方の日本への就職、国際結婚、留学、その他の短期滞在などイミグレーション案件に対応してきました。そうした中で問題を感じたのが技能実習制度でした。

制度が掲げる「日本の優れた技術をベトナムに移転する」が建前で、自らの意志で来る出稼ぎとして成立しているのはまだ分かる。ただ、母国への技術移転が前提だから、それが終わるまでもう日本に来られません。単純労働の出稼ぎ者が技術移転して、それを証明するのは無理です。3年の実習がその後は何にもつながらない。

若い人が日本語を学んで帰るわけですが、単純労働であり使わないから驚くほ

ど下手なわけです。職場の日本人も実習生に高度な日本語は使わない。せっかく苦労して、お金を工面して行っても「技能実習生でしょ」と、キャリアとして評価されない。これが最も問題で、いわば若者の「キャリアの搾取」のような構造になってしまう。

出稼ぎのお金は得るけど、それだけ。多くは単純労働だからベトナムで同じようには稼げない。手元のお金では残りの人生も過ごせない。日本語を学んでも日本に働きにも行けない。技能実習が次につながらない状況を、日本人はもっと知るべきだと思ったんですね。もしも日本での実習のキャリアが評価されて別の在留資格につながり、いずれ永住資格が取れるなら人生変わりますよね。こういう問題提起をやりたかった。

——なぜライトノベルの形式に?

制度について、日本の高校生や大学生に聞いたら「日本の優れた技術を途上国に伝える制度」という回答が多かった。模範的だけど、危ういなと思いました。日本がアジアの1等国で、ずば抜けて優れた国だと思う人がいまだに多いのですが、アジアを歩くと違う。各国がどんどん成長して、すぐにも日本を追い越す勢いです。

そんな若い人に知ってもらいたくて、軽

いタッチのライトノベルはどうかと思いついたのです。実務書を出したこともありますが、大学生や高校生に読んでもらうのは難しい。自分の意思で手に取ってもらうための仕掛けが必要ではないかと。

でも、単に小説化してイラストを付けただけでは制度については伝わらない。そこで考えたのが小説と解説を組み合わせた形式ですが、これが難しかった。やってみると、そもそも小説と解説というのがうまくなじまない。編集者と試行錯誤しながら「専門家が自分の体験をベースに解説を語る」という形式に落とし込みました。

運営機関から反響 聖地巡礼する人も

発行後、技能実習生と一緒に仕事をする日本人など当事者から少なくない反響があったと近藤氏。作中の舞台となったフエ市まで足を運ぶ熱心なファンも現れたという。6月には本作が原案の映画も公開予定など、作品を通じた話題の提起に手応えを感じている。

——作中の実習生は成功や破滅の明暗が分かります

ベトナム人の若い女性たちが登場し、それぞれ成功や挫折のパターンを象徴しています。主人公のアイン、アインの先輩の同級生であるリエン、年下のチュック、アインの先輩、という4人です。

リエンは最も成功した人で、ベトナムの大学卒業後にすぐ日本の会社に就職でき



アインの故郷で物語が始まる舞台となったベトナム中部のフエ市

た。大学のインターンシッププログラムに参加し、その会社に採用されたから大学で学んだITの知識を生かせる。技能実習にも応募しません。

アインと先輩は、どちらも家計が大変な中で大学を出たのに地方にはいい就職先がない。お金が十分稼げないから技能実習を選ぶ。アインは借金を返してお金もためられた。でも、その後どうしたらいいかわからない。学歴を隠して来たのは虚偽申請だという負い目もあり、もう二度と日本に来れないと悩む。年下のチュックは、実習先でひどい扱いを受けて逃亡。警察に捕まって送還される。先輩は技能実習をきっかけに完全に破滅する。

リエンのように成功できる人は少ない。

もちろん、技能実習を終えて無事に帰る人が最も多いのですが、チュックや先輩のように破綻してしまう人も少なからずいるわけです。

——「碧い空」とは何を指すのでしょうか

やっぱり可能性ですよ。彼女たちにとって、初めは技能実習が「碧い空」だった。でも、実情を知ることにつれて初めは青

く見えたものも段々くすんでしまう。どこまでも広がる「碧い空」というのは、本当の可能性に出会えたかどうか、その象徴です。

——発行から半年。反響は

例えば、技能実習生と一緒に働く日本の方から「いろいろな視点を得られた」という声が寄せられました。実習の運営機関の人からもあります。

アインの故郷であるベトナムのフエまで行ったという「聖地巡礼」をしてくれた人や、それまで一冊の本を読み切ったことのない高校生が、これを読み通して実習生の問題を考えるようになってくれたという話もあります。インターネットでも好意的な感想が多いです。

——このジャンルの続編、新作の構想はいかがですか

書きたいですね。ラノベと私の専門分野が融合した、解説込みで若い人が読める本。実は今、スリランカ政府の特別補佐官を務めています。職業訓練庁の長官の下、日本向けの人材育成に関する政策提言とマッチングに関わっています。日本に来て失敗した、スリランカ人の再チャレンジに焦点を当てたドラマを書きたい。

この6月末からは、本作を原案にした映画『縁の下のイミグレ』も公開予定です。ラサール石井さん、マギーさんといった有名な役者さんも出演されます。アインを原作にした映画も作りたいですね。アニメ化の企画があれば乗りたい。そのためには1万部は売れないといけません(笑)。新作もどんどん書いていきたいと思います。

(聞き手=副編集長・岡下貴寛)



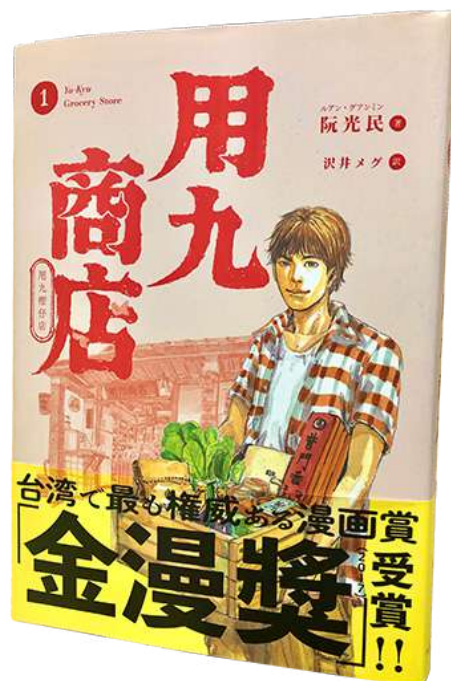
著者紹介

近藤秀将

(こんどう・ひでまさ)

特定行政書士、社会学者、小説家。2006年、行政書士登録。12年、行政書士法人KIS近藤法務事務所設立。アジア圏の専門家としてイミグレーション法務、在留資格、国際結婚の申請など活動。ベトナム国立フエ科学大学特任教授、立教大学平和・コミュニティ研究機構特任研究員、広東科技学院外国語学院日本社会文化研究所客員教授など

情緒豊かな作風、台湾漫画ヒットの舞台裏



用九商店 (全5巻)

2022年1月12日 (1巻)
ルアン・グアンミン (著)
沢井メグ (訳)
トゥーヴァージンズ
990円 電子版あり

あらすじ

台湾最大の都市である台北で働く青年、楊俊龍(ヤン・ジュンロン)は祖父が倒れたことから帰郷。祖父が営むよろず屋「用九商店」を継ぐことになった。店は村の人々の心のよりどころとなるが、再開発の波が押し寄せてきて……。著者の阮光民(ルアン・グアンミン)は1973年、台湾生まれの人気漫画家。青年の成長と懸命に生きる人々の姿を繊細なタッチで描き、台湾の漫画賞を多数受賞。ドラマ化もされた(邦題『いつでも君を待っている』)。コミック翻訳は台湾文化に精通した沢井メグ氏。

ここがすごい!

- ① 人気漫画家のヒット作が日本上陸
- ① リアルな展開で台湾の「今」を知れる
- ① 台湾文化に精通した沢井メグ氏が翻訳

台湾発の漫画が続々と邦訳されている。背景にあるのは台湾人作家によるオリジナル作品の充実化。影響を受けてきた日本漫画の技法を生かしつつ、台湾ならではの情緒を盛り込んだ作品が好評だ。その代表作『用九商店』の翻訳者、沢井メグさんにブームの理由などを尋ねた。

精密な描き込み 得られる没入感

——最初に台湾漫画シーンの特徴を教えてください

長い間、日本の漫画の影響を大きく受けていて、翻訳版が市場の8~9割を占めていました。その次の段階として2000年代から出てきたのが「台湾人による台湾の漫画を描こうよ」という流れで、台湾政府もバックアップ。台湾人とは何ぞやという作品や、歴史を振り返る作品が登場し、そこが一段落して、日常生活や現代の台湾を題材にした作品が数年前からスポットを浴びるようになりました。

16年に発表された『用九商店』はその代表作。著者の阮光民(ルアン・グアンミン)先生は台湾漫画業界のトップランナーといえる方で、台湾で最も権威のある漫画賞「金漫奨」を本作で受賞しました。

——翻訳を手がけた経緯は

以前から台湾の歴史や言語、エンターテインメントに興味があり取材活動もしていた経緯と、自分の子育てを題材にしたコミックエッセーを描いていて漫画表現に関心があったことから、版元(トゥーヴァージンズ)にお声がけいただきました。台湾オリジナルの漫画を日本に紹介したいと思っていたので、うれしかったです。

——最初に本作を読んだ際の印象は

まず引きつけられたのは絵の描写の細かさ。例えば商店の棚を見れば、台湾でどんな物が販売されているか分かるくらい詳細に描き込まれているんです。他にも、タクシーの車体には実在するタクシー会社名が書かれていて、物語の舞台が雲林県だと推測できます。

最近の日本の漫画は細かく説明しがちだと言われますが、本作は言語化されていない表現を味わい、台湾旅行をしてよるず屋の客になったような没入感が得られる。しばらく忘れていた読み方だったと思いました。

——作業のプロセスは

最初に原作をざっと読みあらすじを確認し、次にキャラクターの性格づけをしました。一人称は、原作だと基本全て「我」な

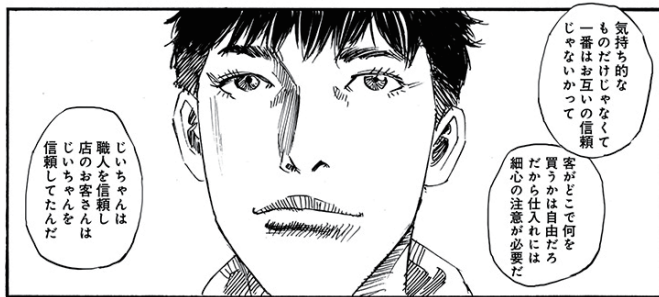
のですが、ここはこだわりました。真面目で今どき青年の俊龍（ジュンロン）は「オレ」、おちゃらけている両金（リャンジン）は「おれ」など。女性も「私」「わたし」「あたし」とイメージに合わせて分けました。

発音、単語、表現 台湾語訳す難しさ

自身のSNSでは『用九商店』の魅力を愛情たっぷりに解説するほか、エンタメを中心に台湾に関する情報を発信している沢井さん。その源となっているのは「もう一歩進んだ関係性になるために、台湾を知ってもらいたい」という強い思いだった。

——翻訳で心を砕いた点がありますか

吹き出し内の文字数に収めるため、どう意識（一語ずつではなく、全体の意味が取れる翻訳）するかということ。例えば「ご飯を食べました」は中国語だと「吃飯了」



@Guang-min Ruan

主人公の俊龍。故郷を離れ台北の一流企業に勤めていたが、祖父が倒れたことをきっかけによろず屋「用九商店」を継ぐことに

の3文字で済むという具合に、中国語から日本語への翻訳は、私の感覚では文字数が1.5倍ほど増えます。そのため意識をしますが、本来のメッセージが変わってしまったらどうしようと常に心配していました。もし著者が日本語で書いていたら、こんなせりふを選んでいたのでは、と考えながら作業しました。

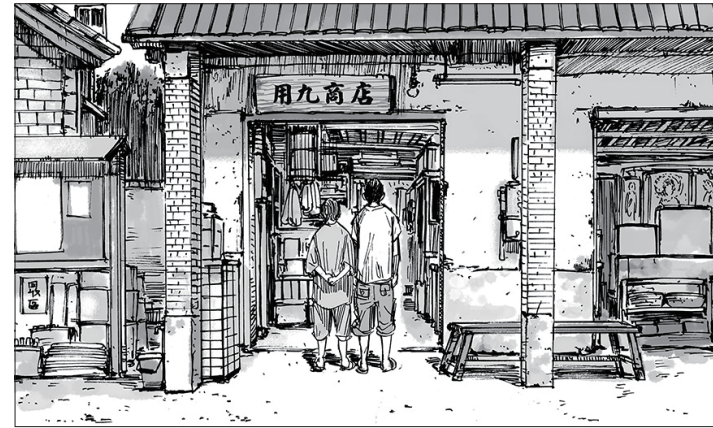
——台湾漫画ならではの作業は

台湾語の検索が必要でした。舞台の雲林県は台湾中部と南部の境目にあるのですが、実際の状況に合わせておじいちゃん同士の会話で台湾語が結構出てきます。

標準的な中国語とは発音や使う単語が違うほか、独自の表現があるのが特徴。作中では地元感やキャラクター性が出る大切な演出なのですが、例えば台湾語が使われている食べ物の名称に台湾語読みのルビを振ろうとしても、私には音が分からない。

そんな時は、台湾デジタル発展部部長のオードリー・タンさんが参加するシビックハッカー・コミュニティ「g0v」（ガブ・ゼロ）開発のオンライン辞書「萌典」で発音を確認しました。その上で出版物などを確認し、日本人の間で定着しているカナ表記を採用しました。

——日本での台湾漫画の見通しは



@Guang-min Ruan

よろず屋。現地の雰囲気が伝わる繊細な描写が特徴。ルアン・グアンミン氏の祖父も過去よろず屋を経営しており、格別な思い入れがあるという

台湾では現在、若い漫画家を中心に歴史や文化に留まらない作品が増えていますが、日本の読み手からすると台湾をメインテーマに据えた方が分かりやすいのも事実。いわゆる「台湾色」が強くない漫画を日本で紹介する価値があるのかという意見もあるかもしれません。でも、そういった壁を越えて入ってくる作品は間違いなく面白い。共通点の中にあるちょっとした文化の違いを楽しめる、そんな読み方ができる可能性を台湾漫画は秘めていると思います。

——日本での台湾ブームの見解は

始まりは東日本大震災が起きた11年。台湾から多くの義援金が届き、日本への思いに私たち日本人が気付いてがらりと変わった。でも私は台湾のことを「親日だから好き」という現状から一歩進んで「相手

をもっと知る」という次の段階にそろそろ行くべきだと思っています。台湾の文化や暮らしを伝える『用九商店』は、まさにそのきっかけを作ってくれる作品。

最近漫画だけではなく台湾ドラマも人気のように、エンタメは万人に対して間口が広く、楽しみながら文化などを知ることができるのが

素晴らしい点。本作が次への一歩につながればうれしいですね。

（聞き手＝編集・古林由香）



著者紹介

沢井メグ

（サワイ・メグ）

中国語翻訳者、ライター。大阪教育大学在学中、中国・上海の同済大学に留学。通訳・翻訳業を経て、2011年からウェブメディア「ロケットニュース24」で編集ライターとして活動。20年独立。翻訳業のほか中国本土・台湾のカルチャーや時事の話題を紹介する記事を執筆。漫画の翻訳は『用九商店』が初。ツイッターアカウント@Megmi381



学べる、笑える、元気が出る

アジアな漫画、大集合

国際結婚の「あるある」を楽しく描いたコミックエッセーから、歴史を鮮やかに描いた大作まで、アジアを題材にした近作漫画を選定。ページを開けばあの世界、あの時代にトリップ！

※税込み価格。書誌データは1巻のもの

Title

中国嫁日記 ママたいへん編

日中の国際結婚のドタバタをユーモラスに描いた『中国嫁日記』の8巻目に当たる。「ママたいへん編」の題名通り、中国出身の妻、月（ゆえ）さんの妊娠から出産、育児にまつわるエピソードを描く。

関心を引くのが中国ならではの出産事情。女兒であった場合の中絶を防ぐために、出生前の性別診断は事実上違法（ただし裏技も存在）。妊娠中はたくさん食べるのが良しとされ30キロ増は当たり前など、日本との違いが興味深い。

後半は、日本でのマイホーム購入がテーマ。住んでいた中国・深圳の賃貸住宅はバブルの影響で契約更新を断られてしまい、生まれてくる子どものためにも安住の地を探す。庭へのこだわりや、購入資金のやりくりで日本と中国の違いが噴出するが……。家への価値観は違ったとしても、子を思う気持ちは一緒。一家の新出発を応援したくなる1冊だ。

驚き連続の中国式子育て！



2020年9月17日発行 井上純一（著）
KADOKAWA 1,045円 電子版あり

著者 Profile

井上純一●TRPG（テーブルトーク・ロールプレイングゲーム）デザイナー、漫画家。玩具会社「銀十字社」代表取締役。ブログで公開していた『中国嫁日記』が話題になり2011年に書籍化。他に『キミのお金はどこに消えるのか』など

Title

インド夫婦茶碗 おかわり！

熱烈プロポーズの末、インド人男性と結婚した流水りんこが自身の結婚生活を描いた人気シリーズ。長年日本で暮らしてきた夫婦だが、50代になり子育ても一段落し、気が付けば老後は目の前。ひょんなことから、2巻目からはインドの聖地であり2人が出会った思い出の地バラナシでついのすみかを探すことになるが……。

過去に登場した懐かしいインドの面々と共に繰り広げるとんやわんやの家探しは爆笑必至。えっと驚くカルチャーギャップも描かれ、楽しくインドを知ることができる。

人気シリーズの最新刊



2021年2月1日発行
流水りんこ（著）
ぶんか社 820円 電子版あり
既刊2巻

著者 Profile

流水りんこ●多摩美術大学卒。1983年、漫画家デビュー。バックパッカー時代に出会ったインド人と結婚し、インドや家庭をテーマにした作品多数。著作に『インドな日々』『働く!! インド人』他

Title

シンガポールのねこ事情 （合冊版）

日本滞在経験を持つシンガポール人漫画家が描く、都市国家シンガポールのネコ事情。公共住宅で小型犬とハムスターの飼育はOKなのにネコは違法。でも、実際は飼っている人が多数。そんなご当地情報を盛り込みながら、元野良の飼いネコたちとの幸せライフをほんわかとつづる。

ネコの手術代が約40万円と高額だったり、高級ドリアンが大好物のネコがいたり、シンガポールならではのエピソードに興味津々。著者のネコ好きが全編にあふれていて、愛猫家ならずともほっこり気分を味わえる。

ネコから知る都市国家



2020年1月31日配信
フー・スウィ・チン（著）
道玄坂書房
440円 電子版のみ

提供：道玄坂書房

著者 Profile

フー・スウィ・チン●1977年シンガポール生まれ。幼い頃から日本の漫画に親しみ、デザイナーを経て漫画家に。2016年、日本の出版社から『シンガポールのオタク漫画家、日本をめざす』を出版



タイの「回かっこ」を濃縮

Title

タイのひとびと

ラフな格好で道路工事をする人々、人を転ばす目的があるかのような歩道の突起物。そんな「タイあるある」をスタイリッシュな絵柄でつづる。

著者はイラストレーターで、本作が漫画デビュー作。タブレット端末を片手にタイでノマドワークを実践する中、体験した面白いことや感動をどうにか伝えたい。そんな動機が漫画制作のきっかけというだけあり、全編に「タイが好き」という思いがたっぷり。旅行者なら取りこぼしそうな日常も、住人なら当たり前とスルーしそうな不思議なものも、豊かな感性でキャッチ。鋭い観察眼で漫画に描き出しては「タイってそうだよ」と共感を誘う。

バンコクの話が中心だが、島での滞在をつづった情緒あふれるエピソードも印象的。ページを開けば、タイの香りが漂ってきそうな名作だ。

バンコクの話が中心だが、島での滞在をつづった情緒あふれるエピソードも印象的。ページを開けば、タイの香りが漂ってきそうな名作だ。

2022年11月10日発行
小林真理子（著）
ワニブックス 1,210円 電子版あり

著者
Profile

小林真理子●イラストレーター出身。2008年にタイを初訪問し魅力にはまる。タイでの実体験を描いた漫画が連載していたSNSで人気を博し『タイのひとびと』として自身初の単行本を発売

Title

天幕のジャードゥーガル

13世紀、故郷イランでモンゴル帝国の捕虜になり、後宮に仕えた女・ファティマを軸に展開する歴史大作。アラビア語で魔女（ジャードゥーガル）と呼ばれた実在の女性がモデルで、物語のあちこちに史実が登場。天文学といった科学技術の知識もちりばめられ、知的好奇心を刺激する。

生まれ持った賢さと復讐（ふくしゅう）への執念で奴隷出身という

ハンディをはね除けてのし上がっていくファティマのたくましが痛快だ。キャラクタータッチの愛らしい絵柄だが、ストーリーの展開は重厚。一方、切ないロマンスも展開され読み手をときめかせる。

その圧倒的な独創性が評判になり、漫画好きが選えらぶお薦めの漫画ランキング『このマンガがすごい！2023』の女性向け編で1位を獲得。今後の展開が楽しみな作品だ。

モンゴル帝国を描く歴史漫画



2022年8月25日発行
トマトスープ（著）
秋田書店 660円 電子版あり
既刊2巻

著者
Profile

トマトスープ●多摩美術大学出身。中世から近世の世界史をテーマにした歴史漫画を得意とする。著作に、17世紀に実在した冒険家ウィリアム・ダンピアをモデルにした『ダンピアのおいしい冒険』

Title

コムニスムス

恐怖と混乱のカンボジアを再現



2023年4月29日発行
西島大介（著）
rn press
3,080円 電子版あり

異色の漫画家、西島大介の新作。ベトナム戦争をテーマにした「ディエンピエンフー」の続編に当たり、舞台はカンボジアに移る。1970年代に同国を支配した共産主義勢力、クメール・ルージュ（ボル・ポト派）による恐怖と混乱の時代を描く。

主人公は戦場カメラマンを志してカンボジアにやって来た日本人の少年と、不思議な能力を持つベトナム人女児のコンビ。幼い2人が生き抜く姿を通じ、人と人が戦うことの意味を問いかけると同時に、タイトル

でもあるコムニスムス（ドイツ語で共産主義）の実態に迫る。

粛清で150万人以上もの命が奪われたとされるボル・ポト時代。哲学的なせりふと共に登場する残忍な殺害シーンは、デフォルメされた絵柄でありながらも、はっとするほどリアル。本作収録は第1部のみだが、すでに800ページという驚きのボリュームで、カンボジア史年表や学者の論考なども付帯。著者の熱量を手を感じられる印刷版で読むことをぜひお薦めしたい。

著者
Profile

西島大介●1974年生まれ。2004年『凹村戦争』でデビュー。著作にベトナム戦争を描いた長編『ディエンピエンフー』シリーズや、ファンタジー作『世界の終わりの魔法使い』など



アジアに行くならここで読め!

海外業務のベテランや「通」の人には知られた、アジア本が充実した首都圏の図書館と書店を厳選紹介。
足を運ぶだけでも楽しく、意外な本に出会えることだろう。アジアに行くなら一度は訪れてほしい。

専門の目がそろえた貴重70万冊 アジア経済研究所図書館

DATA

千葉県千葉市美浜区
若葉3-2-2
営業 10~18時
第2・4・5土曜、日曜、
祝日、月末、年末年始休館
1999年開館(現施設移転)



現施設は1999年に東京都内から移転開設した。4階まで吹き抜けの広く明るいホールが印象的。100席の閲覧席を用意している



一般来館者は資料の閲覧と複写が可能。賛助会員(個人年間1万円)には資料貸し出しの他、複写料金やアジア研講演会の参加費割引も行っている



1970年から毎年発行する『アジア動向年報』。各国の主要動向や統計を掲載。国別に10年単位で再構成した「バンドル版」もある(アジア研提供)

司書を海外赴任で育成

「アジアの事を調べるなら、アジア研の図書館に行ってみたら」。大学の先生や勤務先の上司などから、そう助言された人もいるだろう。

日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所(アジア研)は、アジア、中南米、アフリカなど世界の開発途上国に関する研究を行う。併設する図書館は「開かれた途上国専門図書館」を掲げ、各地域の学術文献や統計資料、最新の新聞・雑誌を所蔵。誰でも利用できる。

「政治・経済・社会の分野を中心に70万冊ある蔵書が強みです。現地に出た現地語の資料を多く集め、統計も充実させています」と話すのは、アジア研で図書館を所管する学術情報センターのセンター長を務める柏原千英さん。インターネットでは手に入らない古い統計の印刷物も多く保管する。「各国では役所の移転や災害で消失したけれども、当館には現存するものもあります」と話す。

大きな特色が、十数人いる司書の一人一人が担当地域を受け持ち、各地域のエキスパートでもあること。どの本を買うかは地域ごとに担当が選び、各国に足を運んで収集も行う。専門性を高めるため現地への赴任制度を取り入れているという。

「担当地域に2年間赴任します。資料や図書館の調査など現地の業務を通じて見識を深めています」と、同センター図書館情報課長の高橋理枝さん。

「何を所蔵すべきか目利きの力を養い、資料の入手ルートを開拓するなど2年間でやることはいろいろあります」(高橋さん)

利用の裾野はさらに広げたい考えだ。「例えば、企業で海外転勤する方は、ぜひ赴任前にご来館い



ただければ。事前にウェブやメールで照会があれば、より詳細なお案内もできます」(柏原さん)

スタッフは語る



柏原千英さん

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
学術情報センター センター長



高橋理枝さん

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
学術情報センター 図書館情報課長

「研究所の出版物はウェブで公開するなどオープンアクセス化を進めています。古い資料も権利面で可能なものはデジタル化し、公開資料を増やしていきます」(柏原さん)

「マニアの店ではない」 旅の本屋 のまど

DATA
 東京都杉並区西荻北3-12-10
 営業 12～22時 水曜定休
 店長 川田正和
 開店 2007年(現店舗)



のまどの前身は、東京・武蔵野市の旅行代理店の一角で営業していた旅行書コーナー。川田さんが経営を引き継ぎ、今の店に移転した



移転前はカフェだったという店舗。客層は女性が7割。男性客は50代以上のバックパッカー旅のような話を好む層が多く「若い男性は本当に少ない」と川田さん



売れ筋は韓国の本。最近、急に増えているという。韓国の映画や音楽に触れた人が旅行にも行く流れがあるそうだ。「ガイド本だけではなく韓国の文学とかエッセーも売れています」(川田さん)

間口広くどんな人も

東京を都心から西に走るJR中央線。その沿線、サブカルチャーの街として知られる荻窪の一角に旅をコンセプトにした書店「旅の本屋 のまど」がある。昔ながらの町の小さな書店のようなたたずまいで、国内外の旅行や歴史、文化などを中心にさまざまな本を扱う。

いかにも旅慣れた人が来そうな店名だが「マニアックな旅行好きだけが集まる場所にはしかなかった」と店長の川田正和さんは話す。

「旅のスタンスは人それぞれ。目的もグルメ、スポーツなどいろいろ。商品をあまり細かく絞らず間口を広げて、どんな人も気軽に楽しめるように意識しています」(川田さん)

川田さんが若いころ初めて海外に行った際、米国ニューヨークで立ち寄った旅行専門の書店が強く印象に残った。ロンドンやパリでも同様の店を見かけ、自分も旅の書店を開きたいと考えるようになる。そして東京の大手書店に就職し、独立に向けて必要な経験を積んでいった。

のまどでは月に数回、旅行本の著者を招くなどトークイベントを行っている。「推しの韓国ドラマから見る韓国社会の今」「北関東のエスニックコミュニティを巡る旅」といった特色あるテーマや、旅の話題に限定した落語会を開くなどユニークな企画で満席になることも多い。コロナ禍でも



オンライン開催に取り組み、ファンに応えた。

今は「泊まれる旅の本屋」を構想中だ。「実はもともと、ゲストハウスもやってみたかった。1階が店で、2階に泊まるイメージ。大手の書店では『書店に泊まる』という企画をたまに見かけますが、うちはやはり『旅の本屋に泊まる』というのでできればいいなと思います」(川田さん)

スタッフは語る



川田正和さん
店長

「今年の初め、モンゴルに初めて行きました。ウランバートルは韓国のコンビニだらけで、まるでソウル。若者ファッションも韓国風が流行りで、韓国の進出が圧倒的です」

／ お客の声 ／

「北欧や海外料理の本を探しに来ました。コロナ流行以来、久々なのですごく楽しい。海外好きでコロナ前はよく旅行に行っていたので、また行きたくなりました」(横浜市・40代女性)

本物の冒険家が作ったみんなの居場所 冒険研究所書店

DATA

神奈川県大和市福田 5521-7
営業 10～19時 月曜定休
店主 荻田泰永
開店 2021年



店は100平方メートル弱。物件は2019年から事務所として利用。20年春、新型コロナ流行で小中学校が一斉休校した際、行き場がない近所の子供を受け入れた



極地の冒険で実際に使った装備品を展示。間近で見ることができる



ギャラリースペース。将棋盤も置いてある。荻田さんがいれば自由に話せる

人が集う町の書店を

過去約20年で16回も北極圏へ赴き、主に単独徒歩の冒険行を実施。世に名高い「植村直己冒険賞」も受賞した冒険家が運営する書店がある。

その名も「冒険研究所書店」。日本では珍しい「北極冒険家」として活動する荻田泰永さんが、一昨年前に神奈川県大和市で開業した。住宅地が近い小さな駅前にある個人店だ。

冒険家による書店とは、あまり聞いたことがない。いかにもハードでスリルあふれる冒険譚（たん）や辺境の紀行本で埋め尽くされた品ぞろえを想像するが、決してそうではない。

「専門書店のつもりはないです。旅や冒険の本は全体の10%以下。普通の書店よりは多いと思いますが、商品4,500冊ほどのうち500冊もないぐらい」と荻田さん。書籍を中心に一般向けの商品もバランスよく仕入れる。店を始めたのは地域の人の居場所を作りたかったからだという。

「役割としては、まず探検道具の保管所を兼ねた事務所。それから、いろんな人がいつでも集ってきて冒険の話や情報交換などができる『部室』のような場所。そして近所には書店がないから、その役割を担おうと」（荻田さん）

事務所や部室は初めてでは入りづらいが、書店なら誰でも気軽に入れるのではと考えた。「実際、書店を始めることで初めて出会えた地域の人がい

／ お客の声 ／

「暇な時によく来ます。桜ヶ丘に書店ができてうれしい。店主は教養がある。蔵書が偏っておらず品ぞろえがいい。入荷の要望にも応えてくれる」（大和市・80代男性）



たり、知らないお客同士が語り合ったりしています」という。ソファ席や小上がりなど、来客同士で交流できるスペースも設けている。

インターネットに不慣れな年代向けに、予約置きや自宅配達などの御用聞きも対応。「町の書店として地域の人とつながり、経済や文化面での活性に役立ちたい」と荻田さん。その志は高い。

スタッフは語る



荻田泰永さん
店長

「冒険と本を読むことは根底は同じ。いずれも世界を広げてくれる主体的な行為です。冒険家が書店を始めたと思議に思われますが、私の中では同じなんです」

発行人 山鹿秀一
統括 松田大至
運営 菅原湖
編集長 水津京子
副編集長 岡下貴寛
編集 古林由香
デザイン 岡崎高之 峰村旺子
PR 宮下幸子 櫻場いつか
各国拠点 吉田峻輔 安藤千晶 張成慧 岡本あんな
Sangkawin Apiwut Pravethida Anomakiti
大塚卓也 Darlene Basingan 山川冬子
蘇子善 安田祐二 Jaruwit SU-NGAM
Nguyen Thi Lan Phuong Merliyani Pertiwi
久保英樹 本田香織 竹内悠 成岡薫子
Atul Ranjan 菅原真央

協力 (敬称略) 室橋裕和
山本貴代
川辺祐香
株式会社 Green Create
島田隆
田村和輝
ルーディムス株式会社
ZERO2ONE COMPANY LIMITED
株式会社 LegalOn Technologies
キム・ヨセフ
高部正樹
イケウチリリー
近藤秀将
沢井メグ
株式会社トゥーヴァージンズ
日本貿易振興機構アジア経済研究所
旅の本屋 のまど
冒険研究所書店

編集後記

「アジアがテーマのフリーペーパー？」創刊号を手にしたのは、他社で編集者をしていたころ。あれから13年。何の巡り合わせか100号を担当しました。コロナを乗り越え、アジアに行ける時代が戻りました。各地に降り立つ方のお役に立てるよう、企画や誌面に工夫を凝らしてお届けします。皆さん行ってらっしゃい！（岡下）

姿形を変えながら13年もひょうひょうと生き延びてきた『NNAカンパサル』。本号ではミャンマー発のアイドルや脱北ユーチューバーなどを取材しましたが「アジア」でくくれるテーマの豊富さと面白さが、長く続けてこられた理由かもと改めて実感。読者、そしてご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。（古林）

「カンパサル」とは？

KANPASAR (造)

- カン=看=中国語で「見る」
- パサル=マレー語・インドネシア語で「市場」

この2つの単語を組み合わせた造語です。
中華圏・アセアンに根を張って、20年余りにわたり経済情報を伝え続けてきたNNA。
変貌著しいアジアのマーケットを現場からウオッチしていく、という思いを込めて名付けました。

表紙：撮影地 ベトナム



株式会社NNA
(NNA JAPAN CO., LTD.)
〒105-7209 東京都港区東新橋1丁目7番1号
汐留メディアタワー9階
電話 03-6218-4330 (代表)